

月 日	主 題	担当委員	ス ピ ー カ ー	演 題 関 連 行 事
5. 1	会員卓話	クラブ奉仕	西山公昭	大会記念講演者 黒川先生について
8	会員卓話	々	笠間久吉	
15	々	々	深尾賢一 渡辺邦夫	
22	々	々	和知 朗	
29	国際大会社行会	会長・幹事		イギリスバーミンガム いとう
6. 5	月例誕生、結婚祝 クラブ協議会	クラブ奉仕		
12	国際大会帰国報告	会長・幹事	鈴木基一ガバナー	
19	ガバナー退任挨拶	々	々	
26	最終例会	々	城田会長・高瀬幹事	退任挨拶

### プログラム（井上年度）

月 日	主 題	内 容	ス ピ ー カ ー	摘 要
7. 3	新旧会長引継 会長幹事就任挨拶 結婚・誕生祝 クラブアッセンブリー	認証状他 本年度方針 ガバナー公式訪問 について	会長 会長・幹事 大塩 直文	親睦委員会 R情報委員長
10	ガバナー公式訪問		齊藤 隆 間庭分区代理	会場・いとう
17	会員卓話	公式訪問を終えて 委員長就任挨拶 々 々	井上会長 手塚 徳次 小林 正一 笹沼 幸雄	クラブ奉仕委員長 社会奉仕委員長 職業奉仕委員長
24	会員卓話	ガバナー公式訪問の 感想 委員長就任挨拶	秋元 正 佐藤 正一 渡辺 邦男 岡部 稔 室井 行男 伊藤 義明 大野 千里	国際奉仕委員長 プログラム委員長 スマイルボックス委員長 親睦活動委員長

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
7. 24	会員卓話	委員長就任挨拶	小沢 恒明	職業分類委員長
31	会員卓話	委員長就任挨拶	大森 仁龍 狐塚 敏雄 久保 福市 森 透	出席委員長 会員増強委員長 広報委員長 クラブ会報委員長
8. 7	結婚・誕生祝 会員卓話	委員長挨拶	大塩 直文 福本 治夫 小滝 信光	会長・幹事・親睦 情報委員長 雑誌委員長 R財団委員長
14	日米交換学生歓迎会	歓迎挨拶	井上会長 高野町長	
8. 21	日米交換学生歓送会	お別れの挨拶	井上会長 鈴木 P G 高野町長 君島五一	会場 千本松レストハウス 塩原町長
28	会員卓話 会員卓話	炉辺会合について 交換学生を世話して	大塩 直文 岡部 稔 鈴木 道雄 鈴木 基一	R 情報
9. 4	結婚・誕生祝 会員卓話	地区国際奉仕委員長 会議に出席して	広瀬 久	会長・幹事・親睦 (代理出席)
11	会員卓話	バイセリア交換学生 について感想	青山 栄一郎 広瀬 久	
18	会員卓話	クラブ奉仕研究会 報告	大塩 直文 久保 福市 手塚 徳次	情報委員長 広報委員長 雑誌委員(代理)
25	外来卓話	青少年指導について	神島 誓良	西那須野町教育長
10. 2	結婚・誕生祝 会員卓話	米山記念奨学会につ いて	君島 六郎	会長・幹事 米山記念奨学委員長
		職業奉仕月間に困 んで	笹沼 幸雄	職業奉仕委員長
9	会員卓話	米山記念奨学につ いて	鈴木 基一	カウンセラー
16	外来卓話	合唱団の活動につ いて	副団長 及川 和子	合唱団に助成金贈呈
	会員卓話	商工行政について	小池 保	職業奉仕月間に困 んで

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
10. 23 30	外来卓話 社行会	職業奉仕について 日比親善ワークシ ョ ップ アジア地域大会参 加者の社行会	星野 泰三 井上会長 鈴木直前G 手塚 徳次	地区職業奉仕委員長 会場 いたう 社行の辞
11. 6 13 20 27	結婚・誕生祝 会員卓話 外来卓話 クラブアッセンブリー 会員卓話 外来卓話 会員卓話	ロータリー財団月間 について ライラに参加して フリートーキング 日比親善ワークシ ョ ップ報告 くさのみ会活動 数の単位について	小滝 信光 大山 秋男 岡崎 典夫 鈴木直前G 土子 妙子 森 利男	会長・幹事・親睦 R財団委員長 橋本キセキKK ッ カセットテープ 100巻贈 呈
12. 4 11 18 25	結婚・誕生祝 会員卓話 会員卓話 年次総会 外来卓話	年次総会について クラブ創立当時の 思い出 クラブ創立記念にあ たって 次期次期会長選出 次期理事選出 その他 歳末たすけ合いにつ いて	大塩 直文 鈴木伊勢松 伊藤 俊三 会長・幹事 高野 三郎	会長・幹事・親睦 情報委員会 会場 いたう 西那須野町町長
60. 1. 8 22 29	新年家族会 外来卓話 会員卓話	新年に当り婦人同伴 にて 近況報告 年度後半について	会長・幹事・ 親睦 大橋章一 P G 李 源 珠 岡部 稔	会場 いたう

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
1. 29		社会奉仕委員長会議報告	小林 正一	
2. 5	結婚・誕生祝 会員卓話	世界理解月間について クラブ協議会報告	岡部 稔 手塚 徳次 笹沼 幸雄 小滝 信光 君島 六郎	国際奉仕委員会 クラブ奉仕 職業奉仕 R財団 米山英学会
12	外来卓話	現代の犯罪状況について	吉川 行晴	黒羽刑務所長
26	会員卓話	R I 創立80周年卓話	鈴木 基一	世界理解と平和の日
3. 5	結婚・誕生祝 会員卓話	塩原の歴史と文学散歩	和智 朗	会長・幹事・親睦
12	会員卓話	酒造りの話	池嶋 英哲	
19	外来卓話	ガバナー挨拶 ガバナーノミニ 挨拶	斉藤 隆 館野 斐雄	
28	黒羽との合同例会	記念卓話 (ロータリーの 並木路)	大橋章一 P G	会場 ホテルニュー塩原
4. 2	結婚・誕生祝 クラブアッセンブリー	I G F について	会長・幹事・ 情報	会長・幹事・親睦
9	会員卓話	雑誌月間について I G F に参加して	小出 正夫 鈴木 道雄	雑誌委員会
16	外来卓話 会員卓話	合唱団現況報告 山菜について	及川 和子 野沢 光治	維持会費贈呈
22	歓迎 桃園 R C	友好親善例会	会長・李・ 鈴木	会場 いたう
30	会員卓話	日韓親善会議に参加 して	鈴木 基一	
5. 7	結婚・誕生祝 会員卓話	日韓親善会議参加報 告	佐藤 悦郎 君島 六郎	会長・幹事

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
5. 13	歓迎 パラニアック R C	歓迎 懇親会	会長 ミスター・ スワレス	会場 いとう
21	姉妹クラブ歓迎会	韓国東水原 R C 歓迎	会長 金 知仁	
28	会員卓話	地区協議会報告	手塚次期会長・佐々木次期幹事 岡部次期副会長	
6. 4	結婚・誕生祝 会員卓話	地区協議会報告	次期 4 大奉仕 委員長	例会場変更（家族会）  会場 いとう
11	クラブアッセンブリー	ロータリー問題集に ついて	会長・情報	
18	つくば科学博	つくばロータリー ルーム	会長・幹事・ 親睦	
25	最終例会	退任あいさつ	会長・幹事 4 大奉仕 委員長	

### プログラム（手塚年度）

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
7. 2	誕生、結婚祝 新旧会長引継 会長幹事就任挨拶	認証状手渡 本年度方針	親睦委員会 新旧会長 会長・幹事	情報委員長
9	クラブアッセンブリー	日比ワークショップ について ガバナー公式訪問に ついて	鈴木基一 森 利男	
16	ガバナー公式訪問		館野ガバナー	会場 いとう
23	外来卓話 会員卓話	国有林について 新任挨拶	角谷誠之助 岡部 稔	大田原営林署長 副会長
30	会員卓話	委員長就任挨拶	大武義維 伊藤義明 金子哲也	職業奉仕委員長 社会奉仕委員長 国際奉仕委員長

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
7. 30	会員卓話	委員長就任挨拶	中里 正 高橋智純 伊藤祐蔵 鈴木洋利 小林正治	スマイルBOX委員長 出席委員長 親睦委員長 職業分類委員長 会員増強委員長
8. 6	誕生、結婚祝 会員卓話	研修会出席報告	森 利男 伊藤義明	親睦委員会 情報委員長 社会奉仕委員長
13	会員卓話	お盆について 委員長就任挨拶	大森仁龍 土山幸三 尾暮浩輝 青山栄一郎	会員選考委員長 広報委員長 雑誌委員長 資料委員長 S A A
13	会員卓話	委員長就任挨拶	井上正夫 佐藤正一	会計 青少年奉仕委員長 社会奉仕委員
20	委員会報告	高齢者及び障害者奉仕について	館野和夫 西山公昭 佐藤悦郎	
	会員卓話	接骨木の昨今 塩原温泉について	大島静夫 斉藤正之	
27	親睦例会	婦人同伴にて	伊藤祐蔵	会場 黒羽観光ヤナ
9. 3	誕生祝 会員卓話	炉辺会合について	森 利男	親睦委員会 情報委員長
10	研修会報告	雑誌部門に参加して	青山栄一郎	8/18字都宮 ロイヤルホテル
	◇	広報分科会に出席して	尾暮浩輝	8/18 ◇
	◇	青少年活動研究会	伊藤義明	9/8小山市 思水荘
	◇	職業奉仕研究会	大武義維	9/8笠間市 山乃荘
17	会員卓話	町づくりについて	高野三郎	700 回記念例会

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
9. 24	外来卓話	青少年について	木下和巳	西中校長
10. 1	会員卓話	職業奉仕月間について	大武義維	職業奉仕委員長
11	姉妹クラブ締結特別例会	姉妹クラブ	手塚会長	会場 ホテルニュー塩原
15	会員卓話	I G Fについて	森 利男	情報委員長
22	外来卓話	公証人について	増沢康正	大田原 公証人役場公証人
	会員卓話	炉辺会合報告	森 利男	情報委員長
29	会員卓話 々	I G Fに参加して 見つかった栗泥棒	薄葉 忠 伊藤俊三	
11. 5	誕生、結婚祝			親睦委員会
12	会員卓話	日比ワークショップ 実行要領	森 利男	
18	歓迎会	R. I. 会長エレクト 歓迎特別例会	カバラス R I 会長エレクト	会場 ホテルニュー塩原
26	外来卓話	テープ寄贈を受けて	五味淵薫	かっこうの会
	外来卓話	テープ寄贈を受けて	落合美和子	草の実会
	会員卓話	日比ワークショップ を終えて	鈴木基一	P G
12. 3	誕生、結婚祝			親睦委員会
	外来卓話	日比ワークショップ に対する御礼	館野斐雄	ガバナー
10	会員卓話	ロータリー財団月間 について	富田 勤	財団委員長
17	クラブ年次総会		会長・幹事	会場 いたう
24	外来卓話	ライラの参加報告	秋元宏子	
24	会員卓話	規定審議会について	鈴木基一	P G
27	会員卓話	本町行政の問題点	高野三郎	西野須野町長
1. 7	誕生、結婚祝			親睦委員会
	会員卓話	年頭の挨拶	会長・幹事	
14	家族新年会	婦人同伴にて	会長・幹事・ 親睦	会場 いたう

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
1. 21	会員卓話	クラブ協議会報告	伊藤義明 岡部 稔 金子哲也 大武義維	社会奉仕委員長 クラブ奉仕委員長 国際奉仕委員長 職業奉仕委員長
28	会員卓話	日航機事故について 医療問題での行革	渡辺陸男 富田 勤	
2. 4	誕生、結婚祝			親睦委員会
	会員卓話	かぜについて	大塩直文	
18	会員卓話	ロータリー財団について	富田 勤	R I 財団委員長
25	外来卓話	世界理解月間に因んで	グローバル神父	
3. 4	誕生、結婚祝			親睦委員会
	会員卓話	国民生活白書より	野沢光治	
11	会員卓話	「さざれ石」について	佐藤悦郎	
18	外来卓話	日本画について	笹沼恭欣	画伯
25	会員卓話	お寺について	西山公昭	
4. 1	誕生、結婚祝			親睦委員会
	外来卓話	両クラブ友好促進について	李 傳滄	桃園 R C、P G
8	会員卓話	第 2 回炉辺会合について	森 利男	情報委員長
	外来卓話	母国の現況	アジア学院研修生	ブアスト君 (ケニヤ) ロドリゲス君 (インド)
15	外来卓話	那須疎水について	西沢道夫	郷土資料館長
22	外来卓話	犯罪の動向について	羽柴健一郎	黒羽刑務署長
5. 6	誕生、結婚祝		会長・幹事	親睦委員会
	外来卓話	自分の座右の句について	堀内静江	前西小学校長
13	工場見学		職業奉仕	富士電機大田原工場
23	合同例会	黒羽 R C		会場 花月



月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
5. 27	会員卓話	地区協議会報告	会長・幹事	会場 栃木県教育会館 ホスト 宇都宮東RC
6. 3	会員卓話	地区協議会報告	小林正治 小滝信光 宮 利男 君島六郎	次期クラブ奉仕委員長 次期職業奉仕委員長 次期社会奉仕委員長 次期国際奉仕委員長
6. 10	会員卓話	地区協議会報告	三森美夫	次期米山記念 奨学委員長
6. 17	外来卓話	つくし共同作業所の 概要	西沢勝之	つくし共同作業所長
6. 24	最終例会	家族親睦会	会長・幹事・ 親睦	会場 いとう
	日比ワークショップ反省会	挨拶	鈴木基一	日本側チェアマン P. G.

#### プログラム（岡部年度）

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
7. 1	新旧会長引継	認証状他、クラブ財産	岡部 稔 手塚徳次	新旧会長
	会長・幹事就任挨拶	実りある奉仕、今年度 方針	岡部、 鈴木(道)	会長・幹事
	挨拶	初訪問今年度の協力要 請	金子新一	分区代理
	委嘱状授与	地区広報委員長任命 井上正夫	鈴木基一	P. G
	◇	地区青少年交換並びに 款待委員任命 富田勤	◇	◇
	新入会員紹介	田中 保 (栃相支店長)推薦 村上善英 (大信金支店長)推薦	館野和夫 三森美夫	
	結婚、誕生祝		渡辺邦男	親睦活動委員長
	皆出席表彰		大野千里	出席委員長
	委嘱状授与	記録写真撮影 井上正夫・三森美夫	岡部 稔	クラブ会長

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
7. 8	四大奉仕委員長 就任挨拶	今年度方針について クラブ奉仕 職業奉仕 社会奉仕 国際奉仕	小林正治 小滝信光 宮 利男 君島六郎	
	委員会報告	ガバナー公式訪問 について 米山奨学会新プラン について	城田正男 鈴木基一	R情報委員長 P. G
15	ガバナー公式訪問 クラブ協議会	記念講演 2:00-5:00 5:00-懇親会	小竹俊夫 小竹俊夫	ガバナー ガバナー いとう
25	姉妹クラブ歓迎例会	台湾桃園 R. C 李伝滄 P. G 及び桃園合唱団 指導者管・鄭両先生を お迎えしての歓迎の辞 々 答 礼 々	岡部 稔 鈴木基一 李 伝滄 管・鄭	いとう 会長 P. G 桃園 R. C P. G 桃園合唱団先生
29	公式訪問を終えて	協力お礼	岡部 稔	
	委員会報告	姉妹クラブ李 P. G 一行もてなし感謝	君島六郎	国際奉仕委員長
29	クラブ15周年式典 について	式典概要説明	鈴木基一	式典実行委員長
8. 5	結婚、誕生祝 皆出席表彰 新入会員紹介 賜暇返上 クラブ15周年記念 について 会員卓話	鈴木文夫(鈴木電機(有) 社長)推薦 小出正夫君元気に出席 役割表発表	渡辺邦男 大野千里 井上正夫	親睦活動委員長 出席委員長
12	ポールハリス表彰 クラブ15周年記念 について	土山幸三君 君島久造君 説 明 々	佐藤悦郎 伊藤俊三	実行委員会総務委員長 西那須野町町長 地区ロータリー財団担 当諮問委員 実行委員会総務委員長 々 会計長
19	職場見学	キリンビール 高根沢工場	小滝信光	職業奉仕委員長

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
8 26	クラブ15周年記念 について	協力体制づくり 々 々	鈴木伊勢松 佐藤悦郎	実行委員会副委員長 々 総務委員長
9. 2	結婚、誕生祝 皆出席表彰 ボールハリス表彰	富田 勲君	渡辺邦男 大野千里 鈴木基一	親睦活動委員長 出席委員長 地区ロータリー財団担 当訪問委員
	外来卓話	黒磯ローターアクト クラブの歩み	五十嵐順一	黒磯ローターアクト クラブ会長
	クラブ15周年記念 について		鈴木基一	実行委員長
9	会員卓話	青少年奉仕月間 について	小林正一	青少年奉仕委員長
16	外来卓話	合唱の心について	及川和子	西那須野青少年少女合唱 団指導者
	クラブ15周年記念 について		鈴木基一	式典実行委員長
23	秋分の日 休日			
30	クラブ15周年記念 について	最終打合せ 各委員会ごとの ミーティング		
	委員会報告	桃園 R. C 25周年式典 出席について	君島六郎	国際奉仕委員長
10. 6	クラブ15周年記念式典	10/5 ホテルニュー 塩原に於て前夜祭が、 東水原、桃園両姉妹ク ラブメンバー出席のも と盛大に開催され 10/6 前夜祭に引き続 き姉妹クラブはもとよ り、友交クラブ、バイ セリア R. C 交換学生 ミス、クリスタリーも 出席国際色豊かに、し かも地区内出席者は御 婦人同伴者が多く、い やが上にも記念式典を 盛り上げた。		ホテルニュー塩原
14	結婚、誕生祝 皆出席表彰 お礼	クラブ15周年記念協力 お礼	渡辺邦男 大野千里 鈴木基一	親睦活動委員長 出席委員長 式典実行委員長

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
10. 14	会員卓話	職業奉仕月間によせて	小滝信光	職業奉仕委員長
21	筑波学園都市 R. C P. R	スポンサークラブ土浦 R. Cより、チャーター ナイト出席勧誘に訪問	前田凌一 山本和男	土浦 R. C 土浦 R. C
	外来卓話	米山月間によせて	佐藤二郎	米山記念奨学活動委員 会委員長
28	外来卓話	留学地ドイツをスライ ドを使って説明	津吉 靖	いとう 元 R 財団留学生
	クラブ15周年記念 反省会	30分		
	訪台団社行会	姉妹クラブ桃園 R. C 25周年記念式典出席者 23名 送ることば 訪台団代表挨拶	手塚徳次 君島六郎	直前会長 国際奉仕委員長
11. 4	結婚、誕生祝 皆出席表彰 訪台団最終打合せ		渡辺邦男 大野千里 君島六郎	親睦活動委員長 出席委員長 国際奉仕委員長
11	訪台団帰省報告	姉妹クラブ桃園 R. C 25周年記念出席帰省 報告	岡部 稔 鈴木基一	会長 P. G
18	会長指名委員会 会員卓話 計 報	次期次期会長候補発表 R 財団現況と見通し R 財団月間にちなんで 11/15草野栄龍会員 永眠	小池 保 深尾賢一	指名委員会議長 R 財団委員長
25	ホテル新築落成オープ ン祝賀例会	元湯温泉 元泉館オー ブン祝賀の親睦例会 お祝の挨拶 謝 辞	岡部 稔 鈴木基一 君島六郎	元泉館 会長 P. G 元泉館社長
12. 2	結婚、誕生祝 皆出席表彰 会員卓話	冬を迎えるにあたって の健康管理	渡辺邦男 大野千里 大塩直文	親睦活動委員長 出席委員長
9	草野栄龍会員追悼例会 ありし日を偲んで	雲照寺出席者頼子様、 智明様 町にあっての草野さん クラブ員であった 草野さん	高野三郎 鈴木基一	西那須野町長 クラブ創立会長 P. G

月 日	主 題	内 容	スピーカー	摘 要
12. 9	ありし日を偲んで	檀徒から仰ぎみた 和尚さん 謝 辞	森 利男 草野智明	檀家総代、元会長 雲照寺
16	クラブ年次総会	総会成立宣言 会長挨拶 直前会長・幹事に感謝 状と記念品贈呈 直前会長・幹事謝辞 1988～89年度会長確定 宣言 1987～88年度役員理事 選出 次期次期会長挨拶 次期理事代表挨拶 懇親会	岡部 稔 岡部 稔 手塚・佐々木 小池 保 関谷直人 井上正夫	いとう クラブ会長 直前会長・幹事 会長指名委員会議長 親睦委員会
12. 23	元米山奨学生見舞報告	洪秋芬さんを筑波学園 都市病院に見舞う 会長・幹事・洪さんの カウンセラーであった 鈴木P.G 以上3名	岡部 稔	クラブ会長
	会員卓話	青少年交換日比テニス 交換を無事終了 帰省して	富田 勤	地区青少年交換並びに 款待委員
	本日の食事ミリオンダ ラー			
12. 30	会長挨拶	今年度上期を終了する にあたって	岡部 稔	クラブ会長

# 会員増強の状況

(61. 12. 31 現在)

年 度	期 首 (7月1日)	入 会 者	退 会 者	期 末 (6月30日)	備 考
1971~72	27 名	6 名	2 名	31 名	(実増) 4 名
1972~73	31	7	6	32	1
1973~74	32	17	3	46	14
1974~75	46	5	3	48	2
1975~76	48	4	6	46	- 2
1976~77	48	8	3	53	5
1977~78	53	4	4	53	0
1978~79	53	10	6	57	4
1979~80	57	5	1	61	4
1980~81	61	8	7	62	1
1981~82	62	7	6	63	1
1982~83	63	9	2	70	7
1983~84	70	8	3	75	5
1984~85	75	9	11	73	- 2
1985~86	70	2	3	69	- 1
1986~87	71	3	2	70(12月末)	- 1

# 歴代会長、幹事及会員数並に年度毎出席率

(61. 6. 30 現在)

	年 度	会 長	幹 事	会員数	年間平均 出席率
初 代	1971年12月~72年 6月	鈴木 基一	藤森 武雄	27 名	97.31%
2 代	1972年 7月~73年 6月	鈴木 基一	小出 正夫	31	97.70
3 代	1973年 7月~74年 6月	宮沢 勝	梨本 欣司	31	98.06
4 代	1974年 7月~75年 6月	鈴木伊勢松	小池 保	45	98.32
5 代	1975年 7月~76年 6月	草野 榮龍	郡司 昌佳	47	99.10
6 代	1976年 7月~77年 6月	小池 保	古山 正	53	97.81
7 代	1977年 7月~78年 6月	小出 正夫	小滝 信光	53	99.81
8 代	1978年 7月~79年 6月	佐藤 悦郎	小林 正治	57	99.82
9 代	1979年 7月~80年 6月	伊藤 俊三	土山 幸三	61	98.71
10 代	1980年 7月~81年 6月	君島 六郎	室井 行男	62	99.74
11 代	1981年 7月~82年 6月	大塩 直文	関谷 直人	63	99.91
12 代	1982年 7月~83年 6月	森 利男	小沢 恒明	70	99.79
13 代	1983年 7月~84年 6月	城田 正男	鈴木 洋利	75	100.00
14 代	1984年 7月~85年 6月	井上 正夫	高瀬 千治	75	99.97
15 代	1985年 7月~86年 6月	手塚 徳次	三森 美夫	73	99.97
16 代	1986年 7月~87年 6月	岡部 稔	佐々木 榮緑	69	99.97
			鈴木 道雄		

### ロータリー財団寄付年度別実績表

年 度	基 準 会 員 数	年 間 寄 付 額	年 間 達 成 率	寄 付 累 計 額	累 計 達 成 率	1 名 当 り 寄 付 額	委 員 長
1971～1972	27名	310.02 \$	100%	310.02 \$	100%	11.4 \$	手塚 徳次
1972～1973	27	336.71	100	640.73	200	12.4	藤森 武雄
1973～1974	38	1,341.00	300	1,987.73	500	35.1	郡司 昌佳
1974～1975	45	1,785.00	300	3,772.73	800	39.7	羽石美代治
1975～1976	48	2,020.00	400	5,792.73	1,200	42.0	小林 正治
1976～1977	48	2,730.72	600	8,523.45	1,800	56.8	室井 行男
1977～1978	46	3,725.31	800	12,248.76	2,600	80.9	岡部 稔
1978～1979	53	6,459.00	1,200	18,743.76	3,800	122.5	鈴木 基一
1979～1980	52	2,715.00	500	21,458.76	4,300	52.2	大塩 直文
1980～1981	58	5,220.00	700	26,678.76	5,000	85.57	伊藤 俊三
1981～1982	61	4,783.00	700	31,461.76	5,700	75.92	井上 正夫
1982～1983	63	4,550.00	900	36,011.76	6,600	72.22	斉藤 豊吉
1983～1984	65	5,124.00	700	41,135.76	7,300	68.32	広瀬 久
1984～1985	74	3,597.00	800	44,706.76	8,100	48.60	小滝 信光
1985～1986	71	2,600.00	460	47,306.76	8,500	36.62	富田 勤
1986～1987	71	6,500.00	900	53,806.76	9,400	91.54	深尾 賢一

(1986～87は上半期のみ)

### 年度別ポールハリスフェロー・準フェロー氏名

年 度	ポ ー ル ハ リ ス フ ェ ロ ー 氏 名					
1978～79	城田正男					
1979～80	城田たつ(夫人)	福本治夫	鈴木基一	小林正治	君島六郎	小池 保
1980～81	君島 隣	伊藤甲太郎				
1981～82	三森重保	小滝信光	岡部 稔	鈴木伊勢松		
1982～83	関谷直人	郡司昌佳	森 透	手塚徳次	草野栄龍	吉田英雄
1983～84	伊藤俊三	大塩直文	佐藤悦郎	室井行男	伊藤祐蔵	城田民男(長男)
1984～85	井上正夫	森 利男	渡辺陸男			
1985～86	土山幸三	富田 勤	君島久造			
1986～87	斉藤豊吉	小沢恒明	戸田白鳳	広瀬 久	城田正男(第2回)	

年 度	ボ ー ル ハ リ ス 準 フ ェ ロ ー 氏 名					
1977~78	小出正夫					
1978~79	金子哲也	中里 正	山口正春			
1979~80	笠間久吉	坂内栄治				
1980~81	藤原春吉	小林正一	大森仁龍	笹沼幸雄	高瀬千治	
1981~82	青山栄一郎	鈴木道雄	高野三郎	土屋日出男	大野千里	
1982~83	鈴木洋利	伊藤義明	狐塚敏雄	三森美夫	宮 利男	大武義維
1983~84	マリオ・バーベリ		渡辺一郎			
1984~85	池嶋英哲	佐藤正一	高橋智純			
1985~86	渡辺邦男	深尾賢一	田中俊彦	西山公昭		
1986~87	菊地孝一	鍋木文夫	大島静夫			

### ロータリー米山記念奨学会寄付実績表

年 度	一 般 寄 付	特 別 寄 付	計	累 系 達 成 額
1982~1983	192,000	192,000	264,000	1,998,000
1983~1984	216,000	1,231,660	1,447,660	3,445,660
1984~1985	219,000	282,000	501,000	3,946,660
1985~1986	211,500	180,000	391,500	4,338,160
1986~1987	120,000	300,000	420,000	4,758,160

米 山 功 勞 者

佐藤悦郎	(1982~83)
君島六郎	(1983~84)
城田正男	( 〃 )
草野栄龍	( 〃 )
戸田白鳳	( 〃 )

米 山 準 功 勞 者

金子哲也	(1982~83)
小林正治	( 〃 )
小森利男	( 〃 )
富田勳	( 〃 )
関谷直人	(1983~84)
森透	( 〃 )
鈴木伊勢松	( 〃 )
佐藤悦郎	( 〃 ) (再)
井上正夫	(1984~85)
郡司昌佳	( 〃 )
土屋日出男	(1985~86)
手塚徳次	( 〃 )
岡部稔	(1986~87)





# 韓国東水原ロータリークラブとの 姉妹クラブ締結式

1984年12月13日

於：大韓民国 水原市

## プログラム

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 開 会 宣 言      | 10. 東水原クラブ会員紹介 |
| 2. 点 鐘          | 11. 調 印        |
| 3. 両 国 国 旗 入 場  | 12. 両クラブ記念品交換  |
| 4. 両 国 国 歌 斉 唱  | 13. 両クラブ会長挨拶   |
| 5. 黙 祷          | 14. 両国ガバナー祝辞   |
| 6. ロータリーソング     | 15. 来 賓 祝 辞    |
| 7. ロータリー綱領朗読    | 16. 万 才 三 唱    |
| 8. 来 賓 紹 介      | 17. 閉 会 宣 言    |
| 9. 西那須野R・C来韓者紹介 | 18. 点 鐘        |



## 挨拶

国際ロータリー 第369地区 金 知 仁  
東水原ロータリークラブ会長

本日東水原ロータリークラブと日本国栃木県西那須野ロータリークラブとの姉妹クラブ締結調印式を挙行いたしますにあたり水原市長をはじめ内外貴賓多数ご臨席をいただきまして心から感謝いたします。あわせて遠く鮎海灘をこえてわざわざおいでになりました西那須野ロータリークラブの鈴木基一直前ガバナー様と井上正夫会長並びに会員の皆様心から歓迎申し上げます。なお両クラブの姉妹クラブ締結が厳粛に和気藹藹な中で円満に調印されたことをこの上ないさいわいと思っております。本東水原クラブとしては光栄なる一つの歴史の章を記録したことを限りない感激だと申し上げたい次第であります。

まず本東水原ロータリークラブを紹介いたします。創立が1982年10月でわずか2年あまりのあかちゃんです。本水原市内にある4つのクラブ中の末子でございます。けれども会員37名が一家族のように和合してロータリーの崇高な理念の下に団結して多くの奉仕活動を通して日に日に発展していることをほこりとする次第でございます。

次に本水原市を簡単に紹介させていただきます。本市は首都を包囲している京畿道の道庁所在地で行政の中心地であり、首都の関門でもあります。人口40万の産業、観光、田園都市を目標に前進する都市で又近距離に10余個の大学がある教育都市でもあるわけです。もう一つの特徴はソウル大学

校農科の大学並びに全国の農業科学の中核的役割をする農村振興庁とその傘下にある試験研究機関が集中的にあることとセマウル指導者研修院があるので有名なところでございます。

歴史的には約200年前当時の国王正祖大王が至誠至孝を発願して遷都計画が進められ其の実現のため築城された水原城廓を中心に発展した水原は豊かな古蹟の観光資源があり今も大王の孝行の鑑として追慕する精神が継承され“孝園の都市水原”とよばれているところであります。孝は百行の本で市民全体がその実行に努力するのを郷土精神としている状態で、私達ロータリアンの心中にも孝心とロータリーの理念が調和されたのが東水原ロータリークラブの精神であると申し上げることが出来ます。

韓民族は4300年前開国当時、建国の理想として“弘益人間”広く人類の幸福に奉仕することを目標に発展して来たところであります。ロータリアンの一人としてロータリーの綱領やその発展過程をわかるようになった私は韓民族の理念とロータリーの理念が完全に一致することをさとして感激したことがございました。その意味で今日の両国間の両クラブの姉妹締結を契機として世界の平和と親善増進に手をとって努力することになったことをうれしく思っております。

時の流れは早いもので1984年もくれよう

としています。1984年には全斗煥大統領の歴史的最初の訪日を契機に日韓両国の関係は共同運命体の同伴者として親善と発展並びに人類平和の為に共に努力することをたしかにした年で両国の関係が新しい章を開いた記録を立てました。又韓国も門戸を開放して北韓との対話のいとぐちが発見されましたし中共との通路も開かれました。このような一年を送る時機に今日西那須野クラブと姉妹関係が結ばれたことを一層意義あることと思っております。なお前途に洋々たる希望があることと確信いたします。

姉妹関係を韓国語では同気と呼んでいま

す。千字文にも同気連枝と記録されています。姉妹は血が通じ肉身がつらなっているもので喜怒哀楽を共にし同苦同楽する運命体であります。文字通りに姉妹になった両クラブは今後一身同体の心がまえで、より近いより親密な人情味を通して共に発展するために細心な配慮と変らない友情で前進すること希望いたします。今は“地球村”ということばが実感される時代になりました。このような時運に便乗し勇往邁進する両クラブの将来を祝福いたします。ありがとうございました。



## 祝 辞

国 際ロータリー 第255地区 井上 正夫  
西那須野ロータリークラブ会長

本日貴クラブ訪問にあたりまして御挨拶の機会を得ましたことを誠に光栄の至りに存じます。

この度 第369地区方枝バスターガバナーと第255地区鈴木基一直前ガバナーの御骨折りを頂き貴クラブと西那須野ロータリークラブとの姉妹クラブ締結の運びになりましたことをクラブを代表致しまして深く感謝申上げる次第でございます。

私は1984～85年度西那須野ロータリークラブ第14代会長の井上正夫でございます。どうぞよろしくお願い致します。簡単ではございますが西那須野ロータリークラブの概要を御説明申し上げます。

当地は首都東京より北東に約150kmに位置し栃木県の北部西那須野町、当町は人口3万余の農工商業から成り立ち公害のない緑豊かな平和な町でございます。

又地域内隣接の塩原町は日光国立公園内の温泉と観光の地、又名所古跡の名勝地としても有名でございます。

秋の紅葉は格別の景観でございます。クラブ会員数は創立会員12名を含めて現在73名でございます。

1983～84年度は当クラブより、本日同席致しております鈴木基一ガバナーが選出されました去る4月に行われました第255地区年次大会には方枝バスターガバナーの「亜細亜のロータリーの将来を考える」と言うテーマのパネラーとして立派な御意見を拝聴致しました。

又その折のアトラクションには貴国の民俗舞踊団律呂楽会の素晴らしい公演を觀賞させて頂きました。筑波大学に留学しておりました李源珠さんは米山記念奨学生として当クラブが世話クラブとなり二年間にわたりお世話させて頂きました。この様に当クラブと貴国との関係は既に親密な関係にありました。1982～83年度の向笠広次R.I会長のテーマ「人類は一つ世界中に友情の橋を架けよう」と言われました姉妹クラブ締結を機会に今後益々日韓両国の友好の絆を更に強く結び合い世界平和のため尽したいと念願致します。

今後共両クラブの発展を祈念致しまして簡単ではございますが挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。

# 祝 辞

国際ロータリー 第369地区  
ガバナー 成 栄 煥

国際ロータリー369地区76クラブ中のひとつである東水原ロータリークラブと日本国の255地区西那須野クラブとの姉妹締結をするよろこばしい機会に私がお祝いのことばを申し上げるようになりましたことをこの上ない光栄と存じます。

東水原クラブは創立後わずか2年ばかりの年輪であります。その間ロータリーの崇高な理念と奉仕精神をもって会員たちが熱烈な活動をつづけた結果、今日クラブの発展は勿論地域社会の発展に寄与した所大きいものであります。このように不撓不屈努力の結果つみ上げた座標をつよくふみしめて今後東水原クラブ飛躍的発展の段階をいさましくふみのほるようになることを願っています。

なおかつわれ等ロータリアンはロータリー綱領に示されている精神を再認識して実践躬行することは勿論、特に奉仕の理想の下に結合した事業人、専門職業人としての矜持をもって世界的友誼を通じて国際間の理解と親善を深め、平和を増進することに今日を契機にしてなお一層努力することを希望する次第であります。

今日この歴史的な姉妹締結をする両クラブの感激的瞬間はロータリー史上永く記録される光栄をもつことと信じております。その意味で私も心からお祝い申し上げます次

第であります。

一旦信義をもって結ばれた姉妹関係にある両クラブは、なによりも友情を根幹として相互信頼の基礎の上に人類のため奉仕する根本精神に立脚して、より幸福な社会、平和と自由が充満する世界を実現させるため、合進協力まい進するとき今日の姉妹締結の意義を発見することができるものとおもいます。

韓日両国は自由と民主主義という共通な理念を追求する隣邦であり相互緊密な協力関係を維持発展させることが両国民すべてに利益をもたらす道だとおもっております。韓日両国は永い歴史を通じて順調な関係ばかりを経験したところではありませんが、現在のわれ等は謙虚な心がまえで脚下を省察し心機一転の決意で新しい次元の関係を構築する重要な時点に立っていると申し上げます。

最近の国際情勢は韓半島の平和と安定が日本を包む東北亜の平和と安定に特に緊要であるという認識が深められており、今後韓日の相互協力が一層強調されている状況であります。

結論として今日の両クラブの姉妹締結を始発点として国際間の協力による親善が一層深められて益々発展することをお祈りいたします。ありがとうございました。

## 祝 辞

国際ロータリー 第369地区 方 炫  
バストガバナー

韓日国交が回復正常化されてはや20年たちました今日、国際ロータリー会長が催す第3回韓日親善会議が来年開かれようとしています。

この時機に、国際ロータリー第255地区西那須野ロータリークラブと国際ロータリー第369地区東水原ロータリークラブとの間に姉妹クラブ締結調印式を挙げることは、まことに意義深いことで、心からお祝い申し上げます。

本日は国際ロータリー第255地区鈴木バストガバナーをはじめ、西那須野ロータリークラブの代表の皆様が来韓列席され、亦ご多忙の中この祝典をお祝い下さるため参席されました国際ロータリー第369地区成栄煥ガバナー、水原地域の多数の機関長、近隣クラブのロータリアンの皆様厚く御礼申し上げます。

特に鈴木バストガバナーには、アジアのロータリーの将来に対して深い関心をおもちであり、私が常日頃尊敬しているロータリアンでございます。

今回のこの姉妹クラブ締結も含めまして、

現在まで、日本各地の約80のロータリークラブが、我国のロータリークラブと友情溢れる姉妹クラブ締結を致しております。このような現況のなかで、現在最も模範的である両クラブは親睦を中心とした奉仕活動を発展させるため、インターアクト、ロータリーアクト等若者達の青少年交流を通じ、地域社会の発展に歩調を一つにするパートナーとして、世界社会奉仕を目標とする両クラブの輝かしい発展を祈ってやまない次第です。

向笠元 R. I. 会長は「すべてのロータリアンは世界平和を築きあげるために、やらなければならない役割をもっております。最も重要なことは参加そのものにあるのではなく、参加して時間と努力を捧げることにある」と述べられております。

もっともっと大小無数の友情の橋を架けられることを願い、両クラブの限りない発展とご来韓なさった西那須野クラブメンバーの皆様が楽しいご旅行をなさることをお祈り致しまして、私の挨拶と致します。

## 挨拶

国際ロータリー 第255地区  
直前ガバナー 鈴木 基一

両クラブの姉妹クラブ締結にあたり、成栄煥ガバナーはじめ近隣クラブ会長、国会議員その他名士の方が多数参席していただき感謝を申し上げます。

私は1983-84年国際ロータリー第255地区のガバナーをつとめました西那須野ロータリークラブの創立会長の鈴木でございます。私が最初に韓国を訪問致しましたのは1968年1月で17年前のことです。その後1979年9月ソウルでのアジア地域大会に出席の為訪れたことがございます。そして今回が三度目の訪韓になるわけでございます。その間の社会的文化的発展をまのあたりに致しまして驚きと共に貴国民のご努力に敬意を表するものでございます。

今回私達西那須野ロータリークラブの代表7名は貴クラブとの姉妹クラブ締結のために訪問致しました。そして、心あたまる歓待をいただき、亦皆様と直接お話し合いをする機会を得ましたことを嬉しく名誉に存じます。

この度の訪問実現につきましては、貴地区方炫バスターガバナーのご尽力の賜でございまして、心から感謝を献げるものでございます。方炫バスターガバナーは私が地区ガバナーとして去る4月に255地区の年次大会を主宰致しました際「アジアのロータリーの将来を考える」タウンミーティングのパネラーの一人と致しまして招請を致し、大会を成功させて下さいました。私の尊敬

するロータリアンでございます。その時から東水原ロータリークラブと私達のクラブとは結れる運命にあったように思われます。

又水原農林高校と私達の町にあります那須農業高校とは姉妹校関係にあり、過去に生徒を交換、交流した歴史があり、縁浅からぬものがありました。

大英帝国の発展に情熱を傾けたキプリングが冷やかに「東は東、西は西」と突き放したように公言した時代は去りまして、今の世界は社会、経済、文化その他の基盤が異なっていましても、地離的に隔絶していても、なお共通の問題を求めて相互に協力すべき時代に入っています。人種、宗教、言語その他の相違を越えて協力すべきであるという認識が各分野で現実のものとなって動いています。

韓日・日韓両国の関係に致しましても、イコール・パートナーとして対等の立場であることそして多くの場合相互補完の関係にあることを肝に銘ずる必要があります。

隣国と付き合いは難しいと言われております。フランスの国際政治学者アルフレッド・グロッセル教授は、その理由を「心地よい無知」と「知ろうとしない意志」にあると指摘したことがあます。その通りだと思います。隣国を真に知ることは、自分の弱みと醜さを悟ることでもあります。だから事実を目をつむり、古い既成の考えに逃避していた方が心地よいのであります。互いに相



手をありのままに見つめる意志と勇気がない限り、相互の理解などありえないだろうと思います。

ここにお集りの両クラブのロータリアンは、ここに想いをいたし、輝ける未来に向けて変らぬ善意と限りなき友情を深めあいたいと思います。

友情の始まりは、ガスレンジの口火であり、消えないように大事にすれば、小さな火も必要な時に湯を沸し暖房の熱となり、

大きな火力となるのであります。どんな形でも結構です。両クラブのロータリアン同志のコミュニケーションを継続させる為に努力しましょう。このことを発展させ確めあうために本日、両クラブのロータリアンはここ水原の美しい街に集り、姉妹クラブの締結をするのでございます。これからは人間性豊かな友情溢れる交流を深めたいと念願するものでございます。本日はまことに有難うございました。

#### 西那須野 R. C. 調印式出席者

鈴木 基 一	直 前 ガ バ ナ ー
井 上 正 夫	会 長
三 森 美 夫	幹 事
岡 部 稔	国際奉仕委員長
鈴木 伊勢松	地区幹事・元会長
佐 藤 悦 郎	元 会 長
君 島 六 郎	元 会 長

# 桃園ロータリークラブとの 姉妹クラブ締結式

1985年10月11日

於：日本国 塩原町

## 式 次 第

1. 点 鐘 手塚会長
2. 国 歌 齊 唱 日本国・中華民国
3. ソ ン グ R-O-T-A-R-Y
4. 開 会 宣 言 手塚会長
5. 来 賓 紹 介 大橋章一バスターガバナー、鈴木基一バスターガバナー  
幸手R.C 岩上幸二  
(桃園R.Cと姉妹クラブ代表)
6. 桃園クラブ来西会員紹介 林永泉会長・簡嘉憲幹事・楊坤儀会員・陳顯清  
楊敏盛・頼君勝
7. 締 印 式 ○ 手 塚・林 両会長  
○ 佐々木・簡 両幹事  
○ 金 子・楊 両国際奉仕委員長
8. 締 結 文 交 換・披 露 佐々木・簡 両幹事
9. 記 念 品 交 換 手 塚・林 両会長
10. 会 長 挨 拶 西那須野、手塚徳次
11. 会 長 挨 拶 桃 園、林 永泉
12. 祝 辞 ○ 大橋章一バスターガバナー  
○ 鈴木基一バスターガバナー
13. 万 歳 三 唱 音頭 鈴木基一バスターガバナー
14. 祝 電 披 露 255地区・館野ガバナーより
15. 幸 手 R.C バナー交換
16. 閉 会 宣 言 手塚会長
17. 点 鐘

## 挨拶

西那須野ロータリークラブ

会長 手塚 徳次

本日の調印式に当り、255地区、大橋章一バスターガバナー、当クラブ会員でもあります、鈴木基一バスターガバナーの御出席を頂き、西那須野ロータリークラブ・桃園ロータリークラブ・姉妹締結調印式が、和気あいあいの内に、厳粛に行われましたことを、心より感謝申し上げます。

併せて、中華民国・桃園から、わざわざ御出掛け頂きました桃園クラブ・林永泉会長並びに会員の皆様、心から歓迎申し上げます。今年の春、桃園クラブから李伝滄・345地区バスターガバナーを始め、林永泉現会長、楊坤儀次期会長、頼君勝前会長、4人の方が来西され、当クラブを訪問頂きましたのは4月でございました。

李P.Gはその時「袖振り合うも多生の縁」と東洋の諺を出され、100万のロータリアンの中に、何等の関係で結ばれている事は、確立からいって、非常に少い縁である。

日本と台湾を合せて、人口は1億4千万、その中で個人的に、お友達になれるということは、何か前世からの縁がなければ、並大抵に出来ることではない、と申して居られました。

又、鈴木P.Gからは、同窓である、二人の関係から、新しく旧友の消息を確めあっ

たと云う事を承り、他人事ではない様な、感銘を受けた次第でございます。

その時以来、既に両クラブの姉妹関係は事実上、成立されるのではないかと感じたのは、私、独りでは無かったと思います。

本日の調印が成立する迄に、両バスターガバナーの、一方ならぬ、御配慮と御盡力があったことを更めて御報告申し上げますと共に深甚なる謝意を表すものでございます。

中華民国と日本は同じ東洋民族として、又、同じ自由主義経済の国家体制をとっている国として、今後、益々親密の度を深めて行くことは確かな事であります。

両クラブが姉妹関係を結んだ今、将来、両クラブ発展の礎石として、この締結は大いなる意義を有するものと確信するものであります。

桃園クラブの皆様には、今回、日本国内を半月に亘り、9クラブを訪問される御予定と承りました。ロータリーの綱領に則った偉大なる杜挙であり、その行動力と国際奉仕に対する熱意に対し深く敬意を表するものであります。長途の御旅行の無事とその目標達成を全うされんことを祈念致しまして、私の挨拶を終ります。

# 挨拶

桃園ロータリークラブ

会長 林 永 泉

西那須野ロータリー、手塚会長、大橋、鈴木両バスターガバナー及び会員の皆様、今晚は。

私達は此の度、桃園クラブを代表して、貴クラブと姉妹締結のため、参りました。友好クラブとして1年を経過、今や姉妹クラブとして活動を始めようとしております。貴クラブ鈴木P.Gと当クラブ李P.Gとの熱心な協力により、今日に至りました。心から謝意を表わすものであります。これから両クラブは、手に手を取り合って、国際理解、親善、奉仕のために尽していきたいと思ひます。

桃園市、当クラブの御紹介を致します。桃園市は台北に近く、車で30分、国際空港のある所です。そのため、構造的にも文化的にも非常に発展しております。人口は20万、工業団地が多くあるので、昼間人口は35万を越しております。

当クラブは創立25年目に当り、来年の12月に創立25年ということになります。当クラブの現況は、会員数45名、70才以上の方4名、60才以上6名、50才以上が10名、40才以上18名、30才以上が7名、最年長者は78才、最年少は32才、平均年齢は50才でございます。ロータリー関連表彰に於ても、

345地区にて1-2位にあり、今迄に65の表彰を受け、創立以来にすれば、12,200になります。最近当クラブは、青少年交流に力を入れております。一昨年は、日本と韓国から60名の青少年を招へいし、台湾30名、計90名、一週間生活を共に致しました。言葉は通じない面もあったが、別れの時は涙をながしておりました。昨年はロータリーアクトを誕生させました。社会奉仕のために、まじめにやってもらいました。その中の例として、書籍を個人に贈る活動を始め、6,000冊を集める予定でしたが、28,000冊も集り、それ以外に十数万円の寄附を頂き、桃園市以外の地区にも配布し、まじめにやって頂きました。

今年に入り、桃園の文化向上のため、桃園ロータリー少年合唱団を作りました。これは、市内の小学校から、先生の推薦で284名が集り、その中から筆記と実技試験により、69名を採用、週2回の猛訓練をしております。来る25周年の記念公演に間に合わせるべく努力中であります。

今回の貴クラブとの姉妹締結を心から喜ぶと共に、今後、相携えて社会奉仕に協力し合っていきたいと思ひます。どうも有難うございました。

## 祝 辞

バストガバナー 大橋 章一

本日は桃園クラブとの姉妹クラブ締結式にお招きを頂きまして有難うございました。

友好クラブが姉妹クラブに発展したと云うことを心からお目出度うと申し上げます。

桃園クラブの林会長外皆様とお会い出来て本当に有難うございました。先ず、桃園の方々に御礼申し上げます。私の所属します、この255地区会員、約10名、昨年11月、日比ワークショップの折、貴地に立寄り、貴クラブを訪問し、李P.G外皆様にお厄介になりましたことを聞いておりますので、皆様によろしく御礼を申し上げて下さい。

私も地区の国際奉仕諮問委員でございますのでその立場として、皆様にお喜び申し上げますと共に、地区としても、本当に良かったと胸が一杯です。

今年の5月、比国のサンギネシラさんが御出でになった時に、その挨拶の中で、一体「西那須野クラブは何所迄行ったら気がすむのか」と申し上げた記憶があります。

アメリカのバイセリア、韓国の東水原、比国のバラニアッケ、今日の桃園と外国の四ヶ国と姉妹クラブ締結されていることは、255地区では、皆無と思います。日本としてもないのではないかと思います。これは素晴らしいことだと思います。先程、鈴木P.G

と話し合っていたのですが、地区に71のロータリーがあるが、25年、30年経ったクラブはあるが、或る意味では「誇り」ではあるが、良く考えて見るとそれだけでは、誇れるものではないと思う。

ロータリーとは、そこに活動してこそ、ロータリーの意義がある。特に西那須野クラブは、端的に表現すれば怖るべきクラブであると感じるものであります。本当に一体、何所までゆくのかと思う次第です。

昨年の地区年次大会、今迄にあんな素晴らしい大会はございませんでした。今年も来月の日比ワークショップ、来年は15周年、毎年大きな催しをおやりになっておられる。

会長、幹事にとって、生涯、唯一度の機会を逃がさず、本当に良い仕事が出来てお偉せだと、お喜び申し上げます。どうぞ今回、この四ヶ国の新しい関係が誕生しますが、昨年の年次大会の記会誌に書いたと思いますが「地方の一小さなクラブの大会であった一つの声が大きく広がる。これは素晴らしい」ことだと。

今後も255地区の誇るべきクラブとして益々、皆さんの御活躍をお祈りする訳であります。本当に、今日のお招き厚くお礼申し上げます。御目出度うございました。

# 祝 辞

パストガバナー 鈴木 基一

本日は桃園クラブとの姉妹締結本当にお目出度うございます。

桃園クラブの林会長さん始め皆様、遠路御来日頂き有難うございました。3月に私達、貴地訪問の節は、大変お世話になりました。今日は悠くりして行って下さい。

私、ガバナーの時、此の塩原町の文化会館で、年次地区大会を開催しました時、貴クラブの属する、345地区、李ガバナーが、パネラーとしてお出で頂き、「アジアのロータリーの将来を考える」タウンミーティングに参加頂きました。その時、たまたま、本日お出でになってます、大橋章一パストガバナーに司会をして頂きました。その時パネラーになりました、北海道の清水さん、韓国の方さん、台湾の李さん、比国のラバネラさん、その方々が、折角、こういうことをやったのだから、四ヶ国の全地域に広げたらどうかとの話が出て、

国際ロータリーの理事からも話しが出て、種々、皆さんと話し合いがあり、来月の日比ワークショップの時に、19日正午に李P.G、

台北西クラブの李超然P.Gもお出でになることですし、比国より次年度のR.I会長になられます、カバラスさんもお出でになります。多分そこで四ヶ国の委員会が出来るとは思いますが、それにさきがけて、私達のクラブがその四ヶ国と姉妹クラブを締結したことになる訳です。大変嬉しく思います。

林会長さんより唯今、桃園クラブの紹介がございました。本当に私は立派なクラブだと思います。

敬意を表します。少年合唱団のお話、猛練習の由。当クラブも10年前、少年少女合唱団を作り、地区大会で公演の時、李P.Gも感心して居られましたので、刺激されたのではないかと思います。やがて両合唱団の交流も出来るのではないのでしょうか？

本当に今日はお目出度い日で、私は心から嬉しく思ってます。桃園クラブの皆様、李P.G外クラブの皆様に呉々もよろしく御伝言下さい。大橋P.G、連日、御多忙の処、懇々御出席下され厚く御礼申し上げます。

## 桃園ロータリークラブ調印式出席者

林	永	泉	会	長	頼	君	勝	元	会	長
簡	嘉	憲	幹	事	楊	敏	盛		会	長候補者
陳	顕	清	次	期	会	長	楊	坤	儀	S. A. A.

マット・カパラスRI会長エレクト  
歓迎例会



# カパラスR I 会長エレクト歓迎会

60. 11. 18

(於 ニュー塩原)

## ☆ 本日のお客様

- カパラスR I 会長エレクト令夫人
- 加藤恒七P G (第262地区浜松東R C)
- 方炫P G (第369地区平沢R C) 令夫人
- 大橋章一P G (第255地区佐野R C)
- 阿部地区幹事 (第255地区)

## ☆ 会長挨拶(岡部副会長)

日比ワークショップの提唱者であられるカパラスR I 会長エレクト御夫妻をお迎えしてここに西那須野ロータリークラブの特別例会が開催出来ました事を私共西那須野ロータリークラブのメンバーは大変光栄に存じております。

この度、第4回日比ワークショップのホストをお引き受け致し、明日より三日間ワークショップが開催されますが、

フィリピンのロータリアンの皆様はもとより遠く中華民国、韓国よりお忙がしい中各国を代表されるバストガバナーが御参加下されました事は日比のみならず広くアジアのロータリーの将来を象徴することでありなごやかな上にも国際色豊かな盛大なワークショップとしてその1ページを飾る事が出来るものと確信致しております。

我々西那須野R Cと致しましては期間中精一杯のホストをさせていただきますが、今回の日比ワークショップを通じて日本、フィリピンのみならず中華民国、韓国のロータリアンの各位の親善と国際理解がさらに促

進され、日比ワークショップの善意の灯が全アジアに灯されます様、やがて迎える21世紀は明るいアジアからと云う合言葉が誕生されます事を期待致しまして私の挨拶に代えさせていただきます。

## ☆ 方炫P G 挨拶

皆さん今晚は、昨年の255地区、年次大会に続き今回、2度目の当地訪問であります。日比ワークショップの開催と大変お目出度いことと存じます。

昨年の暮には、貴クラブより当地区、東水原R Cとの姉妹締結の折、御見えになられた方々のお顔に接しなつかしき次第です。塩原の風光は私にとって一生の思い出となっております。貴クラブが益々国際親善に意を注がれておりますことを感心すると共に、敬意を表する次第です。

日比ワークショップに止まらず、東南アジアその他アジア全域に及ぼして頂きたいと思う。

皆さん是非、第369地区にも多勢でお出掛け下さい。本日の例会、お目出度うございます。



## ☆ カバラスR I会長エレクト挨拶

(阿部幹事通訳)

皆さん今晚は。妻と共に日本を訪れることが出来嬉しく思う。会長エレクトとして各国を廻って来ました。ブラジル、西独、イスラエル、ニュージーランドです。各国で歓迎を受け非常に嬉しく思っている。今日は当クラブで、わざわざ例会をもって下され有難く思っている。メンバーの方々と御会い出来て本当に嬉しく思っている。鈴木P Gは組織作りに熱心であり、日比ワークショップに努力されています。

11月のロータリーのファンデーションの日に、ロータリー財団につき話をいたしました。兄弟のロータリアンとして比国に手を差し伸べて頂きたいと申し上げた。

私はマニラのRCから参りました。之はアジアで一番古いクラブである。アメリカに次いで古いクラブである。1919年に組織され、現在411名の会員をようしている。我々は61の委員会を持っている。各委員会は非常に良く作動している。その理由は全ローリアンがこれに当てるからである。我々は幾つかの重要なプロジェクトを有している。我々は1つのプロジェクトに非常な誇りを持っている。

医療関係のプロジェクトがそれである。40名の医者が居り他所に出て、夫々活躍している。我々は之等の人材を他国に派遣することを慶びとしている。

日本のクラブも之に参加することを信じている。

ワークショップについて議論したいと思う。

ロータリー財団は非常に偉大なものであ

る。5つの地区が日本に於ては良い成績を挙げております。

昨年は301億ドルの資金を集めた。他国に於いては24億ドルの資金を集めている。この資金を3年間に於いて使っている。ポリオの為にも多く使ってます。

1つの会社が4つのことに関連してる。この4つで昨年29%の成績を治めている。USAに同意をしてる。

3年間に18億ドルの投資をしている。今年度の最大の投資は奨学金である。

65%が奨学金に向けられている。現在95,000人の奨学生を有している。次年度には130,000人以上になるであろう。50%の割で支給したいと思っている我々の奨学金は、1年に限られているが、今後は3年間の長期も考えている。それは比国より起った。アフリカや発展途上国にも及ぶものである。それ等は食物についても同じことである。之等の奨学生は、帰国後、食物や行政についても考えることになる。

ロータリー財団はアフリカに於ける、飢餓をも援助いたします。このプログラムは今後も続けたいと思っている。

ポリオについても及ぼすつもりである。我々は、今から65万人の子供達を救わねばならない。3つの大きなプログラムを続行している。スーダンやバラグアイに於て、バラグアイに於ては10%のボランティアが活躍中である。

11月、トルコに行って来た。大統領と子供達と写真をとって来た。我々はこの発展を認識せねばならない。また、開発する必要がある。

コロンビアに於ては、如何にすれば赤い

中国を助けることが出来るかと研究して居る。会話は続行されている。カンセコ会長はイランがロータリーに復帰することに努力して居り、間もなく実現するであろう。共産圏に於ても、それを突破すべく努力中である。

ロータリー財団は、来年ブタベスト・ハンガリーに於ても、それが実施されようとしている。交換学生はユーゴスラビアに於ても実施されようとしている。

自費生はアルゼンチナ・アメリカ・英国に於ても実施される予定です。効果は確実に現われています。

貴国の寄付がロータリー財団に大きな効果を及ぼして居ります。

ロータリー財団が、この世にあることを非常に慶んでいる。私は財団について大きな誇りを持っている。

私達はワークショップを明日から始める。如何にすれば、お互い助け合えるか話し合います。あなたのクラブの地区の協力を期待して止みません。

明日は多くの人が集まります。韓国・中華民国・比国・日本と、私達は平和について良く働くことにしたいと思う。

有難うございました。

#### ☆ 記念品贈呈

カバラス・エレクト令夫人に



## 第4回日比ワークショップ

1985年11月19～21日

於：ホテルニュー塩原

1985年11月第4回日比ワークショップは、日本栃木県塩原にて、マット・カバラス国際ロータリー会長をお迎えし、日本側22地区97クラブ、比国側4地区16クラブが参加して開催されました。

日比ロータリアン及びそのご家族多数のご参加を得て、山紫水明の地で国際会議がもたれ、お互いの友情を誓いあい、更により深い理解の育成と推進をはかり、温かい雰囲気の中で終始することができました。

これまでに築かれました両国の堅い友情の絆と相互理解のもと、一人一人が奉仕の鍵を見い出され、新しい道を力強く歩み始めたことと信じます。この記念誌が当日の良き思い出となると共に、日比ロータリーの発展の資となり、架け橋となることを念じております。

また必ずや他の地域のロータリアンにも、その輪がひろがってゆくことを期待しております。

第4回日比ワークショップ

チェアマン 鈴木基一



# ■ プログラム

1985年11月19日 (火)

## R. I. 会長エレクト 歓迎晩餐会

ホテルニュー塩原西館1F  
レストランシアター

18:30	マット・カバラス R. I. 会長エレクトご夫妻入場 開会のことば ..... R. I. 255地区バスターゴバナー 衣笠 秀夫 (水戸) 両国国歌斉唱 西那須野少年少女合唱団演奏
19:00	歓迎挨拶 ..... R. I. 理事 伊藤 恭一 (大阪) 挨拶 ..... R. I. 会長エレクト マット・カバラス (マニラ) 乾杯 ..... 元 R. I. 理事 原田 秀雄 (大阪北) 晩餐 余興
21:00	閉会のことば ..... R. I. 255地区ガバナーノミニー 小竹 俊夫 (土浦南)

1985年11月20日 (水)

## 開 会 式

西館1F レストランシアター

9:00	点 鐘 ..... R. I. 理事 伊藤 恭一 (大阪)
9:00~9:45	開会宣言 ..... R. I. 255地区ガバナー 館野 斐雄 (宇都宮西)
	両国国歌斉唱
	ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」 } ソングリーダー 高橋 智純 (西那須野)
	ピアノ 鈴木 典子
	平和祈念 ..... R. I. 255地区バスターゴバナー 湯原竹之助 (土浦)
	来賓紹介 ..... R. I. 255地区ガバナー 館野 斐雄 (宇都宮西)
	開会のことば ..... 直前 R. I. 理事 菅野多利雄 (塩釜)
	歓迎の挨拶 ..... R. I. 255地区バスターゴバナー 鈴木 基一 (西那須野)
	比国代表挨拶 ..... R. I. 381地区バスターゴバナー ベニー・アントワーゴ (マニラ)
	日本代表挨拶 ..... 元 R. I. 理事 松平 一郎 (東京北)

## 第1回本会議

西館1Fレストランシアター

- 9:45~10:50 マット・カバラス R.I.会長エレクト紹介 ……R.I.理事 伊藤 恭一(大阪)  
基調講演 ……R.I.会長エレクト マット・カバラス(マニラ)
- 10:50~12:00 記念講演講師紹介 ……R.I.250地区バスター 清水 幸彦(釧路)  
記念講演「ネットワーク社会に向って」 アジア学院理事長 高見 敏弘
- 12:00~13:30 昼 食

## R.I.会長エレクトとガバナーノミニーの午餐会

会議室「枿」

- 12:00~13:30 モデレーター ……R.I.理事エレクト 伊藤 義郎(札幌)  
午 餐  
ガバナーノミニー紹介並びに代表挨拶 ……R.I.266地区ガバナーノミニー 坂東 宏(吹田)  
挨 拶 ……R.I.理事 伊藤 恭一(大阪)  
挨 拶 ……R.I.会長エレクト マット・カバラス(マニラ)

## 第2回本会議

レストランシアター

- 13:30~14:30 特別講演及び映画「上総掘りをフィリピンへ」 ……R.I.理事 伊藤 恭一(大阪)
- 14:30~14:40 分科会会場へ移動

## 部門別協議会

- 14:40~17:40 希望の部門に出席し、協議する

### 第1部門：青少年交流促進について……………1F会議室「松」

- |          |           |                            |
|----------|-----------|----------------------------|
| モデレーター   | 日本 バスター   | 塩谷 猛(札幌西)                  |
| 〃        | 比国 ガバナー   | アミン・ククエコ(ゲンサントス市)          |
| リソースパースン | 日本        | 矢橋 温郎(札幌西)                 |
| 〃        | 比国 ガバナー   | ジュアニト・ソニー・ベントウラ(ダウンタウンマニラ) |
| リポーター    | 日本 元クラブ会長 | 吉村 憲夫(宇都宮西)                |
| 〃        | 比国 元クラブ会長 | ジョニー・アルエゴ(ダウンタウンマニラ)       |
| 通 訳      |           | 水沼 正雄(栃木西)                 |

第2部門：WCSの成果と今後の対応……………2Fレインボーパレス

モデレーター	日本	バストガバナー	伊勢 芳吉 (池田)
#	比国	ガバナー	フェルナンド・ハンデン・ペドロサ (クバオ)
リソースパースン	日本	ガバナーノミニエ	坂東 宏 (吹田)
#	比国	バストガバナー	クインティン・キング・ドロマル (マニラ)
リポーター		元クラブ会長	鈴木 和雄 (黒羽)
#		元クラブ会長	オスカ・オスキ・デベネチア (マカティ西)
通訳			林 一郎 (水戸)

第3部門：職業人交換（含技術交流）並びにロータリアン夫妻の交流

……………東館1F会議室「桂」

モデレーター	日本	バストガバナー	齊藤 隆 (日立)
#	比国	ガバナーノミニエ	アントニオ・トニー・ルフィノー (マカティ西)
リソースパースン	日本	バストガバナー	津田 進 (川崎北)
#	比国	バストガバナー	アントニオ・ジュン・タンブンティン (マカティ西)
リポーター	日本	元クラブ会長	三上 清一 (水戸)
#	比国	元クラブ会長	デミトリオ・デミ・キュリノ (サンミゲルマニラ)
通訳			ウィリアム・佐藤 (ダウタウンマニラ)

総懇親晩餐会

レストランシアター

19:00	開宴挨拶……………ホストクラブ副会長	岡部 稔 (西那須野)
	挨拶……………R. I.275地区ガバナー	渡辺 和美 (東京西)
	挨拶……………R. I.会長エレクト	マット・カバラス (マニラ)
	乾杯……………R. I.267地区ガバナー	浜川金兵衛 (高知)
	晩餐	
	余興	
	閉宴挨拶……………ワークショップ地区委員長	中 武雄 (潮来)



1985年11月21日 (木)

7:00~8:30 朝 食

レストランシアター

## R. I. 会長エレクトと次期クラブ会長の朝食会

1F会議室「橋」

- 7:30~8:30 モデレーター……………菅野多利雄 (塩 釜)  
朝 食  
次期クラブ会長代表挨拶……………亀山和夫 (佐 野)  
挨拶 ……………R. I. 理事 伊藤 恭一 (大 阪)  
挨拶 ……………R. I. 会長エレクト マット・カバラス(マニラ)

## 第3回本会議

- 9:00 開会宣言 ……………ホストクラブ実行委員長 森 利男 (西部須野)  
9:00~9:30 各部門別協議会報告……………各部門レポーター  
9:30~10:00 組み合わせ地区及びクラブの現況について  
……………R. I. 255地区バスター 大橋 章一 (佐 野)  
10:00~10:30 国際共同委員会について……………R. I. 251地区バスター 塩谷 猛 (札幌西)  
10:30~11:00 両国地区共同委員会締結式……………該当地区ガバナー

## 閉 会 式

- 11:00 申し合わせ事項発表 ……………直前R. I. 理事 菅野多利雄 (塩 釜)  
R. I. 会長エレクト所感 ……………R. I. 会長エレクト マット・カバラス(マニラ)  
閉会の挨拶 ……………R. I. 273地区ガバナー 外山 三郎 (宮崎北)  
閉会の挨拶 ……………R. I. 381地区ガバナー ジュアニト・ソニー・ベントウラ (ダウンタウンマニラ)  
閉会の挨拶 ……………R. I. 255地区バスター 鈴木 基一 (西部須野)  
閉会点鐘 ……………R. I. 理事 伊藤 恭一 (大 阪)  
ロータリーソング「手に手つないで」…………ソングリーダー 高橋 智純 (西部須野)  
11:30 解 散

マット・カバラス

## 国際ロータリー会長エレクト書簡

1986年5月20日

バストガバナー 鈴木基一博士

拝啓

私は第4回日比ワークショップの美しい報告書と、ワークショップの記事の載っている「ロータリーの友」英語版を受け取りました。この報告書の質とその完全さは賞賛すべきものであり、貴方がワークショップをまとめあげるためになされた努力に感謝いたします。

人々の間の頻繁な交流は望まれるところであります。何故ならば頻繁な接触により、人々は相手のやり方を知り、お互に、共に生きることを学ぶからです。共に生きることを学ぶことこそ、個人的理解のエッセンスであります。そのような学習を前進させるためだけでも、日比両国のロータリアンによるワークショップは、有益な目的を果たしたわけです。

私自身の経験がこのようなことを明らかにしています。私がワークショップの間「私はたった1回のスピーチをするために招待されたのだ」とくり返し言った時に、私はただユーモアのつもりでした。私が用意して来たスピーチの原稿は一つだけで、それは日本語に翻訳され印刷されていました。私は話さなくてもよいし、ただことわることも出来ました。ただ私はオーストラリアへの旅行のあと、休養をとるつもりでいた時に、しょっちゅう飛び出して発言することは、滑稽だと考えていたからです。私は会長ノミニーの目がまわるような忙しい生活を笑いとばし、聴衆と一緒にその冗談を楽しみたいと思ったからです。私はそのことで貴方に文句を言うつもりはなかったのです。後になって私の言葉が貴方を困惑させたことを知ったが手遅れでした。本当に申し訳ないと思っている次第です。

私も私の家内も、ワークショップを完全に楽しんだということに確信をもって下さい。貴方と西那須野ロータリアンが、ホストして下さったことに感謝しています。そして、他の参加者も全員、私達と同じ気持ちであると私は信じています。

報告書をいただき有難うございました。そして貴方の多くの親切に対しお礼申し上げます。

敬具

マット・カバラス会長エレクト



1983~'84

国際ロータリー第255地区

# 年次大会の記録

1984. 4.21~22 於 塩原町文化会館





ロータリー財団寄付率優秀クラブ

米山功労クラブ

米山記念奨学会寄付率優秀クラブ

- 15:20 休 憩
- 15:40 記念講演 医学博士 黒川利雄  
閉会のことば 大会副委員長 君島六郎
- 17:05 諸事お知らせ 大会副S.A.A. 関谷直人

## 大会第2日

4月22日(日) 於 塩原町文化会館

- 8:00 登 録  
司会進行 大会S.A.A. 小滝信光
- 9:00 開会のことば 大会副委員長 君島六郎  
点 鐘 ガバナー 鈴木基一  
ロータリーソング ソングリーダー 高橋智純  
(SMILE SING A SONG)  
R.I. 現況報告 R.I. 会長代理 ハロルド・R.ヘンダーソン
- 9:30 タウンミーティング 司会 大橋章一  
李傳滄・方炫・オスカ・M.ラバネラ・清水幸彦
- 10:45 休 憩
- 11:00 選挙管理委員会報告  
選挙管理委員長 瓜生英二  
ガバナー・ノミニー紹介 ガバナー 鈴木基一  
1984~'85ガバナーノミニー挨拶 齊藤 隆  
1985~'86ガバナーノミニー挨拶 館野斐雄
- 11:20 決議委員会報告 決議委員長 大橋章一  
決議採択 ガバナー 鈴木基一  
紹介及び挨拶  
ロータリー財団学友  
米山奨学生  
G.S.E.  
インターアクト  
ローターアクト

日豪交換学生

日米夏期交換学生

ライラ参加者

- 12:10 諸事お知らせ 大会副S.A.A. 関谷直人  
ガバナーズアワー ランチョンパーティー
- 13:45 表彰並びに記念品贈呈 ガバナー 鈴木基一  
ロータリー財団特別功労者  
ロータリー財団功労者  
R.I. 拡大賞  
拡大功労賞  
インターアクト顧問教師  
25年以上皆出席者  
新ポールハリスフェロー  
新米山功労者  
ロータリー財団地区奉仕賞  
R.I. 会長代理ご夫妻に記念品贈呈  
直前ガバナーに記念品贈呈  
直前地区幹事・会計長に記念品贈呈  
長寿参加会員に記念品贈呈  
塩原町へ記念事業目録贈呈  
ロータリー財団に寄付金贈呈  
米山記念奨学会に寄付金贈呈  
韓国慈行会へ金一封贈呈
- 14:40 休 憩  
アトラクション
- 16:05 参加クラブ代表挨拶  
古河東R.C. 会長 遠藤 靖  
次期開催地代表挨拶  
日立R.C. 会長 小川 清
- 16:15 R.I. 会長代理所感  
R.I. 会長代理 ハロルド・R.ヘンダーソン  
ガバナー挨拶 ガバナー 鈴木基一  
閉会のことば 大会副委員長 小池 保
- 16:35 点 鐘 ガバナー 鈴木基一  
諸事お知らせ 大会副S.A.A. 関谷直人  
手に手つないで

# 来賓ご芳名

国際ロータリー会長代理	ハロルド・R・ヘンダーソン	国際ロータリー第255地区	バストガバナー	岡崎 藤 磨
同夫人	メイ・ヘンダーソン	同夫人		岡崎 博 子
国際ロータリー理事	菅野 多利雄	国際ロータリー第255地区	バストガバナー	小林 英 一
国際ロータリー第255地区	ガバナーノミニ	国際ロータリー第255地区	バストガバナー	田中 達次郎
('84~'85)	斉藤 隆	国際ロータリー第255地区	バストガバナー	坂本 守
同夫人	斉藤 富士子	国際ロータリー第255地区	バストガバナー	瓜生 英 二
国際ロータリー第255地区	ガバナーノミニ	同夫人		瓜生 光 代
('85~'86)	館野 斐 雄	国際ロータリー第255地区	バストガバナー	湯原 竹之助
国際ロータリー第256地区	ガバナー	国際ロータリー第255地区	バストガバナー	斉藤 五 一
国際ロータリー第279地区	ガバナー	国際ロータリー第255地区	バストガバナー	大橋 章 一
同夫人	小原 美 紀	同夫人		大橋 喜代子
国際ロータリー第274地区	ガバナーノミニ	国際ロータリー第255地区	直前ガバナー	衣笠 秀 夫
	岩永 光 治	同夫人		衣笠 幸 子
同夫人	岩永 信 子	国際ロータリー第382地区	ダウンタウン	
元国際ロータリー理事	松平 一 郎	マニラロータリークラブ	元会長	ウィリアム・佐藤
元国際ロータリー第345地区	バストガバナー	同夫人		セナイダ・佐藤
	李 傅 滄	国際ロータリー日本支局長		抽 冬 忠
国際ロータリー第369地区	バストガバナー	ロータリーの友編集長 (英語版)		村田 長 幹
同夫人	方 炫	国際ロータリー第255地区	地区幹事	鈴木 伊勢松
国際ロータリー第382地区	バストガバナー	同令嬢		小沢 聡 子
	オスカー・M・ラバネラ	国際ロータリー第255地区	地区幹事	久賀谷 惣一
同夫人	エリンダ・ラバネラ	国際ロータリー第255地区	地区幹事	阿部 价 延
国際ロータリー第528地区	バストガバナー	同夫人		阿部 千枝子
	ジェームス・ハマイ	国際ロータリー第255地区	地区会計長	伊藤 俊 三
国際ロータリー第250地区	バストガバナー	同夫人		伊藤 多喜子
同夫人	清水 幸 彦	国際ロータリー第255地区	地区資金委員	渡辺 孝 男
国際ロータリー第258地区	バストガバナー	国際ロータリー第255地区	地区資金委員	鳥居 仁 隆
国際ロータリー第279地区	バストガバナー	同夫人		鳥居 秀 子
同夫人	青山 美 恵子	栃木県知事		船田 譲
国際ロータリー第279地区	バストガバナー	塩原町長		君島 五 一
同夫人	鈴木 憲 輔	西那須野町長		高野 三 郎
国際ロータリー第279地区	バストガバナー	大会委員長		草野 栄 龍
同夫人	寺田 欣 一	大会副委員長		小池 保
国際ロータリー第279地区	バストガバナー	大会副委員長		君島 六 郎
同夫人	織戸 勝 雄	ホストクラブ会長		城田 正 男
国際ロータリー第255地区	バストガバナー	大会幹事		森 利 男
同夫人	小野 康 平	ガバナー夫人		鈴木 多摩恵
	小野 八千代			

## 参加クラブ紹介

### 地区外

- 第250地区 銅路 R. C.
- 第252地区 花巻北 R. C.
- 第252地区 丸森 R. C.
- 第253地区 白河 R. C.
- 第256地区 館林 R. C.
- 第256地区 館林西 R. C.
- 第257地区 深谷 R. C.
- 第257地区 川口北 R. C.
- 第258地区 東京北 R. C.
- 第275地区 東京三鷹 R. C.
- 第259地区 鎌倉 R. C.
- 第259地区 川崎百合丘 R. C.
- 第279地区 千葉南 R. C.
- 第279地区 印西 R. C.

### 地区内

#### 〔茨城〕

- 第1分区 北茨城、大子、高萩、常陸太田、日立、日立南、日立港、常陸山方、常陸大宮
- 第2分区 水戸、水戸南、水戸西、勝田、那珂湊、笠間、大洗
- 第3分区 結城、古河、古河東、下館、岩井、真壁、下妻、境
- 第4分区 土浦、土浦南、石岡、水海道、取手、竜ヶ崎
- 第5分区 鉦田、玉造、潮来、鹿島臨海、波崎

#### 〔栃木〕

- 第2分区 氏家、馬頭小川、烏山、宇都宮、宇都宮東、宇都宮南、宇都宮西
- 第3分区 真岡、小山、小山東、小山南、益子、壬生、
- 第4分区 日光、今市、鹿沼、鹿沼東、栃木、栃木南、栃木西
- 第5分区 足利、足利東、足利西、佐野、佐野東、葛生、田沼、岩舟
- 第1分区 那須、黒磯、大田原、黒羽、矢板、西那須野



## 友の情けの確かめ合いを！

大会委員長 草野栄龍

昨夜お泊りいただいておりますご来賓の皆さま、またご遠来の方がた、よくお眠みになっていただけましたでしょうか。また本日お出まし下さいました皆さまには早朝よりこんなに山路を深くお登りいただき、まことにお大儀でございました。皆さまようこそお越し下さいましてほんとうにありがたく存じます。すでにご案内申し上げます通り、国際ロータリーウィリアム・スケルトン会長代理として、ハロルド・ヘンダーソンご夫妻のご臨席を仰ぎまして、ご名声赫々たる各界のご来賓を初め、本日特に記念講演をいただきます黒川博士、またはるばる海を渡ってお越し下さいましたパネラーの先生方、さらには大韓民国の古典舞踊、及びシルクロードの芸術を伝える律呂楽会の会員各位さま、あるいは交換学生、留学生の諸君ともども、非常に国際色豊かな大会を開催することができますことは、まことに無上の光栄でございます。これ一重に地区内外バスタガバナー各位を初め、特に近隣各クラブの先輩方の懇篤なるご指導とお力添えによるものでございまして、ただただ厚くお礼申し上げます。

当塩原温泉も最近近代化の著しい所でございますが、ここからさらに4キロほど山奥に入りますと、元湯という所がございます。その昔太古の人が初めていで湯を発見しましたときの驚きと喜びがそのまま伝わってくるような心地がいたします。

小さないろり火を氏族の“命の火”として護り伝えていた時代に、この神秘的な泉の尊さは実に大変なものであったと想像に難くございません。熱い泉を囲んで彼らはきつと輪になって声を限りに命の賛歌を神に捧げたことでしょう。手に手をつないで友垣よ、広がれ、回われ、この温かく洗われたフレッシュな心に1984年の私どもも改めて命のぬくもりを意識して、いよいよ固い友の情けを確かめ合いたいものでございます。

どうぞ皆さま友情を確かめ合う集いとして、今日をお楽しみ下さいませ。諸事不行届の次第にて恐縮に存じますが、どうか皆さまのご助力、ご高配を賜りまして本大会を成功に導き下さいますよう心からお願いを申し上げます。ありがとうございました。

## 限りなき友情を後代へ

ガバナー 鈴木基一

本日ここに国際ロータリー第255地区年次大会を開催できましたことはガバナーとしてもっとも喜びとするところでございます。地区内全クラブのロータリアンの皆様、並びにその御家族の方に加えまして、地区外及び遠く海外からのご参加をいただきまして、ロータリーをわかち合う機会をもつことができますことはほんとうに嬉しく存じます。

また、このたび国際ロータリー会長の代理として遠くカナダからハロルド・ヘンダーソンご夫妻がおいで下さいました。ご夫妻は、この地区大会に出席いただきます直前まで香港におきまして、難民への歯科医療を6週間にわたりましてご奉仕をなさってまいりました。この崇高なるご奉仕に対し、皆様とともに大きな拍手を送ろうではございませんか。

このような素晴らしい会長代理を派遣して下さいましたスケルトン国際ロータリー会長に心から感謝を申し上げたいと思います。さらに菅野多利雄国際ロータリー理事、松平一郎国際ロータリー元理事、海外よりアメリカ第528地区ジェームス・ハマイバストガバナー、台湾第345地区李傳滄バストガバナー、韓国第369地区方炫バストガバナー、フィリピン第382地区オスカー・M・ラバネラーバストガバナー、その他、地区内外の現役員、及び元役員の皆様、ようこそおいで下さいました。心から厚くお礼申し上げます。

申すまでもなく、地区大会は年1回開か

れます地区の最も重要な行事でございます。その目的とするところはロータリーの認識を深め、あすのロータリーの活動の勉強をする地区内ロータリアン、その家族が一堂に集まり、親睦を深めることにあります。

そこで各クラブにご参加を願いましたところ、地区内2,790名、75%強という素晴らしいご登録をいただきました。参加されました地区外及びご来賓の方々を加えますと2,960名でございます。皆様の友情に厚く御礼申し上げます。

この友情につきまして、一言申し上げたいと思います。人生におきまして最も尊く、かつ持続的な幸福は「友情」でありましょう。東洋には「刎頸の交わり」という言葉がございます。「人その友のために命を棄つ」という言葉と同じでございます。これより大なる人間愛はないと思うのであります。友情には種々なる範疇がございます。

幸い、われわれはロータリアンとして同時的に多くの人々との間に、善意と好意の友好関係を結ぶことができます。政治的、宗教的、ないし思想や世界観の立場の相違を越えて、同じロータリーの中に結ばれました友情でございます。われわれはこのような友好関係によりまして、各自の自己主張や主我的立場ではなく、他人の立場に立って物を考え、寛容と反省を学び得るのでありましょう。これは年代、世代を異にいたしましても、その間に成り立つ関係でございます。

近世フランス革命は、ひとり政治的、社

会的革命のみでなく、広く文化、道徳、宗教についての考え方も変革しようとしたものでございました。興味ありますのは友情を政治の基礎とし、友情の能力の有無をもって、良き市民の基準にしようとしたことでございます。事実、フランス革命の標語は自由（Liberty）、平等（Equality）、そして友愛（Fraternity）であったのであります。今日、特に重要な意義があるかと思ひます。それが、人間の幸福と社会の進歩に大きな良きものをもたらしたことは事実でございます。だが、フランス革命にはなお、1つの理念、友愛があつて、それがどこまで実現されたかについては問題があらうかと思ひます。

一国内においても種々な対決がございます。それをめぐって競争や闘争のあることは認めなければなりません。対決や争いが悪いのではなく、かえつて社会の進歩を促す動力ともなります。しかし闘争のための闘争であつたり、憎悪や復讐のためであつてはならないのであります。その背後には、常に友愛とともに連帯感、同胞愛がなければならぬと思ひます。

現在の加速度的な科学技術の進歩は驚くべきものがございます。このことにわれわれがいかに対処していくか、重大な問題でございます。この科学技術の進歩は「両刃の剣」であることは相違ございません。それは文明を進歩させ、人類の福祉に役立つが、他面、その使用いかんによっては人間の自由はおろか、その存在すらも危くなるのです。そういう危険をはらんでいることは否定できません。この危険を抑止する、これはなんと申しましても人間に関する問題でございます。人間が自ら作り出した文明で、真の人類の福祉のために役立つしめる人間の英知と意思にかかわる問題でござ

います。人間教養の本義はあくまでも「自己教育」でありまして、どのように多忙な仕事と生活でありましても、努めて精神の自由と時間の余裕をもつことが大切だと思ひうのでございます。生涯を通じまして良書、良友を求めることが大切だと思ひうのでございます。もともと各個人は他の者をもっては代えることのできない個性価値をもつておるのでございます。この社会、この世界が幸福で平和でなければ、各個人は真の幸福で安全な生活を送ることはできません。

有名な英国の天文学者、ハーシェルがケンブリッジ大学在学中に2人の友人と誓ひあつた言葉がござひます。「この世界を自分たちが見出したときよりも、より善きものにして残すために努力しよう」ということでございます。彼はアフリカ喜望峰で数年かけまして南半球の星の図表を作成いたしました。これによりまして新航路が開かれました。そうして人類が大変な恩恵をこうむつたわけでございます。

このように、この世界をわれわれが生れたときよりも少しでもいいものにして、後代に伝えるため努力することが、われわれ人間の本分ではないでしょうか。

ロータリー79年の歴史は、ロータリーに対する個人個人のささやかな善意と、限りなき友情をもつた先輩ロータリアンのたゆまぬ奉仕の賜物でござひまして、今日のロータリーをつくりあげたのだと考えております。私どもは今日最善に生きることによって、先輩から受け継いだものを後代に引き継がなければなりません。この大会が皆様にとって実り多いものであることをお願いいたしますとともに、皆様の暖かい友情に感謝を申し上げたいと思ひ次第です。

次に地区の現況について、主なものだけをご報告させていただきます。当地区の期



首の会員数は3,558名でございましたが、先月末で3,707名となっております、149名増加をしております。これは大宮クラブ、新クラブの会員、20名も含めての数でございます。インターアクトクラブは9クラブ、251名。ローターアクトクラブは14クラブで276名でございます。

去る1月に、黒磯ロータリークラブの提唱によりまして、栃木県北最初のローターアクトクラブの火が灯りました。会員28名で、来たる5月3日に認証状の伝達式を行う予定となっております。

1年交換学生はオーストラリアから5名受け入れております。そうして3名を派遣しております。また、アメリカの第528地区とそれぞれ1名の交換を実施しております。夏期交換学生も同じく第528地区とそれぞれ19名の交換をいたしました。このプログラムは、本日ここにおいてになっております第528地区の直前ガバナーでありますジェームス・ハマ伊さんが約10年のご努力によって、現在に至っておるわけであります。皆様とともに盛大な拍手をお送りしたいと思います。

なお宇都宮、足利東、西那須野各クラブにおきましては、クラブ単独で交換を実施いたしております。

ロータリー財団の寄付は前年度214,776ドルございました。本年度は先月末までに168,456ドルで、過去半期を前年対比で見ますと23,358ドルふえていますので、年度末までには大幅な上昇をみるかと思っております。

寄付の達成率は地区は現在6,000%でございます。ポール・ハリス・フェローは934名でございます。

次に財団奨学生、現在ドイツ、アメリカ

に6名留学中でございます。また去る3月に試験を実施いたしまして、8名の奨学生候補を決定いたしております。

G S Eは本年度は受け入れでございまして、先ほどのハマ伊さんがチーム・リーダーとして当地に現在まいっております。

米山記念奨学会に対する寄付は本年度は3月末で34,378,414円で、現在まで地区の総累計額は2億1,171,793円でございます。3月まで米山奨学生は25名受け入れてお世話もいたしております。59年度は去る3月に試験を実施いたしまして16名を決定いたしました。従いまして4月からは継続者を含めまして23名をお世話することになっております。

報告を終わるにあたりまして、1つ付け加えさせていただきたいと思っております。それは先日、ある会合におきまして、私がお話をしたことでございます。これは1959年の第50回国際大会におきまして、会長に選ばれましたニュージーランドのハロルド・トーマスは、彼の故郷の洞窟（ワイトモ）に住む土ボタルのことにふれまして、こういうことを申しております。1匹ずつの光はかすかであるが、何万と集まると昼を欺く明るさで人を驚かせている。それは1匹1匹がそれぞれ力一杯光っているからで、たとえば、小さなことでもすべてのロータリアンが実行すれば、世界的なロータリーの機能は光り輝いて明るい平和をもたらすことができる、ということを行っているのでございます。

一人一人のロータリアンも力一杯光ろうではありませんか。どうもありがとうございました。

# 米山記念奨学生報告

ロータリー米山記念奨学会奨学生



姓 名	李 源 珠
国 籍	大韓民国
生 年 月 日	1950年 9 月 27日
学 歴	慶州女子高等学校卒業 早稲田大学第二文学部卒業 筑波大学大学院修士課程卒業 東京大学大学院研究科修了
現 職	大邱女子大学教授
カウンセラー	1982年度 鈴木 基一 1983年度 草野 栄龍

姓 名	洪 秋 芬
国 籍	中 華 民 国
生 年 月 日	1957年 9 月 18日
学 歴	台北第一高級学校卒業 国立師範大学卒業 筑波大学大学院修士課程卒業 筑波大学大学院博士課程在学
カウンセラー	1984年度 鈴木 基一

## 1985 R. I. 会長主催韓日親善会議奨学生報告

### スピーカー紹介

265地区ガバナーノミニ

ロータリー米山記念奨学会常務理事

増田 房 二

私、米山奨学会の常務理事を致しております増田でございます。只今からスピーチをしていただき、元米山奨学生の李源珠さんのご紹介を申し上げます。

李さんは慶州女子高等学校を卒業されまして、1976年に日本に留学されました。そして77年から85年までの8年間に早稲田大学第二文学部日本文学科並びに筑波大学大学院の地域研究科をご卒業になりました。更に東京大学大学院人文科学研究科の研究生として学業を積まれました。只今は大邱市の暁星女子大学の教授として大いに活躍しておられます。稀にみる碩学の才媛でございます。

この間早稲田大学は駐日韓国大使館に勤務しての文字通り働き乍らの学業でございましたが、筑波大学在学中は幸いにして米山奨学金を受けることが出来ましたので無理なアルバイトなどせずになんとか勉学に専念していただけたと云うわけでございます。

彼女のお世話を致しました日本、栃木県

の西那須野ロータリークラブの例会に出席するために彼女は往復8時間と云う長い時間を費さなければならなかったのですが、勉学に余念のない彼女が、それを辛いと思うことなく、むしろそれを楽しみにするようになりました。それは西那須野ロータリークラブの皆さんの本当に親切な温い心に触れたこと、のちにガバナーになられました255地区の鈴木基一さん、並びに真言宗東寺派管長草野栄龍さんという素晴らしいカウンセラーに恵まれたためであったと思います。

彼女の疲れた頭を慰めたものに、あの筑波の美しい自然がございました。彼女は日本人と同じような感覚で萩の花を愛し、栗を愛し、そして夕日の茜色を愛し、又遠くに見ゆる富士の山を愛したのでございます。

彼女は日本文学の中で特に近代文学に関心をもたれまして夏目漱石を深く研究されたとうかがっております。それではこれから李源珠さんの報告をお聞きいただきたいと思っております。

## 奨 学 生 報 告

元米山奨学生 李 源 珠

日本のロータリアンの皆様、本日は韓日親善会議に参加されるため、はるばる韓国にいらしてくださり、どうも有難うございます。心から歓迎致します。

実は私も今年の2月長い間住み慣れた日本から帰国したばかりですので、日本の皆様とこういうふうにお逢い致しますと、何か実家のお父さんをお迎えしたような嬉しさとなつかしさで一杯です。

私は1982年4月から1984年3月までの2年間ロータリー米山奨学生として筑波大学で学びました。専攻は日本近代文学です。なかでも夏目漱石を主に研究致しました。去年から千円札に登場するようになったあの人物です。まさか自分の選んだ作家が千円札に登場するとは思いませんでしたので、日本の千円札を手にする私の気持はやゝ複雑です。現在は教育都市として知られる大邱市にある暁星女子大学の日本語科で日本語を教えております。

今年日本語学科が設けられたばかりですので、まだ1年生しかおりません。このところ韓国は一寸した日本ブームです。ですから日本語科も大変希望に燃えております。日本語科の学生に何はこの科を選んだのかと云う質問をしてみましたところ、殆どどの学生が日本語を知る必要を感じたと答えておりました。なかには親に奨められたとか、高校時代に第2外国語として日本語に接し、それから日本語及び日本の虜になってしまったと云う学生もおりました。いづれの答えにしる私達の学生時代と比べますと隔世の感があると言わざるを得ません。

日本に対し旺盛な好奇心を持ち、何事も知りたがり、学ぼうとする学生達を前にして、私なりに頑張っているところでございます。

安定した生活条件のもとで留学生活を無事に終えることが出来たのは、やはり米山奨学金のお陰でございます。更にこの就職難の時代に自分の目差した分野で主役を果たせるようになりました今の立場を私は大変有難く、そして幸せと思っております。ロータリーとは少しも拘りのない私を奨学生として選び勉強させて下さいました日本のロータリアンの皆様に心から感謝致します。

奨学生になったと云うお知らせを手にした時のあの嬉しかった気持は今でも忘れることは出来ません。韓国から生活費を送っていただけの立場でなかった私としては、大学院合格通知よりも嬉しいお知らせでした。ロータリー米山奨学生になってからの2年間には、実にさまざまなことがございました。おもに心に残る楽しい幸せな思い出ばかりでございます。ここでそれをいちいち申し上げたい気持は山ほどですが、時間の問題で省略せざるを得ないのがとても残念です。

私の世話クラブは栃木県にある西那須野ロータリークラブでした。歴史のそれ程古くない西那須野町と日本で指折りの温泉のある塩原からなっておるクラブです。そのためかどこか西洋的なものと日本的なものが共存しているような感じを受け取りました。クラブの会員は私のカウンセラーでいらっしゃいました鈴木基一先生と草野先

生をはじめ皆様大変若々しい気持をもって  
おりますし、チャレンジ精神が大変旺盛な  
方々ばかりであると云うことを感じました。  
更にロータリーの精神を何よりも大事にし、  
積極的かつ真面目に取り組んでおると云う  
印象を受けました。それと共に私が日本人  
の持っている精神の中で一番好きな思いや  
りの精神を溢れる程感じさせるところでも  
ございました。お蔭様で私は本当に多くの  
ことを経験し、かつ学ぶことが出来ました。  
これからはやはり米山奨学財団が人と人との  
つきあいを何よりも大切に思い奨学生に  
世話クラブに行って奨学金を受けとるよう  
にさせたお蔭であると思います。

米山奨学生になった人なら誰もが一度は  
思う、なんと面倒な制度であろうと。私も  
最初はもちました。それに奨学金を受けと  
るために、そのお金を寄付したところへ自  
分の足で行かなければならないと云う気持  
は、あまりよいものではございませんでした。  
しかし一人二人と段々多くのロータリア  
ンと親しくなっていくにつれ、いつの間  
にかそのような気持はうすれてしまいました。  
のちにはお金の必要ばかりでなく、さ  
まざまな職業をもち、色々な分野で活躍な  
さっており、亦、人生経験も豊かなロータ  
リアンの皆様とお話するのが楽しみで、月  
に一回参加する例会が大変待たれるよう  
になりました。

留学さえすれば留学先の人々と自然に知  
りあいになれるだろうと云う考えは日本に  
来てすぐなくなりました。特に筑波大学の  
ようにあらゆる国からの留学生が溢れると  
ころですと、日本人とのつきあいはますま  
す難しいのです。日本語を習いに日本に来

たのに、韓国語ばかりがますます上手にな  
ると云う冗談が聞かれる程、あらゆる国か  
らの留学生は同国人とばかりつきあってい  
るのが実情でございます。

こう云う状況の中でロータリークラブは  
留学生達とは全く異なる世界であり、大勢  
の日本人と知りあえる唯一の場所ではな  
いかと思います。私の場合は大変多くのロー  
タリアンとお話出来る機会に恵まれたよう  
でした。しかしクラブによっては指名され  
たカウンセラーばかりにおまかせするらし  
く、カウンセラー以外のロータリアンとは  
余りお話ししたことはないと云うことを聞  
いたことがございます。

日本のロータリアンの皆様、折角このよ  
うな素晴らしい制度をおもちですから、日  
本のロータリーのためにも、更には日本と  
他国との相互理解のためにも、もっと積極  
的に留学生と接してはいかげしょうか。

長い共通の経験をもつことは大変意義の  
あることだと思います。その共通の経験が  
多ければ多い程よいでしょう。本大会のよ  
うな親善の集いも是非共必要なことだと思  
います。しかしこのような親善大会が根を  
張り、拡ってゆくためにはロータリアン一  
人一人が相互理解のために努力し、積極的  
に取り組んでゆく姿勢を日常において積み  
重ねてゆくことが何よりも大事かと思いま  
す。

本日はこのような盛大な席で私の感謝の  
気持をお伝え出来るよう心がけて下さった  
ロータリアンの皆様に心からお礼申し上げます。  
有難うございました。

(文責 バストガバナー 鈴木基一)

# ロータリー財団奨学生報告

ロータリー財団奨学会奨学生



姓 名	津 吉 靖
出 生 地	栃木県那須郡西那須野町
生 年 月 日	1962年11月26日
学 歴	栃木県立大田原女子高等学校卒業 東京外国語大学ドイツ科在学 1985年ロータリー財団大学課程奨 学生として1ヶ年ミュンスター大 学に留学
カウンセラー	ドイツ フリッツ・ケンパー 日 本 鈴木 基一

ドイツ・ミュンスター大学

津吉 靖

西那須野ロータリークラブの皆様

新年明けましておめでとうございます。

ドイツ入りしてから早くも6ヶ月の日々が過ぎようとしています。麦の緑の濃い北ドイツ平原を飛行機の窓越しに眺め、ゲーテ・インスティテウトでの語学研修を終える頃には、古い建物の壁に張りつめた蔦の葉が真紅に色を変え、11月の中端からはミュンスターの町全体が厚く雪に覆われました。月日の流れと共に沢山の方々に出会い、新しい経験を重ねてまいりました。

ミュンスター大学での授業は、10月の末に始まりました。私はゲルマニスティク（ドイツ学科）に籍をおいておりますが、現在のところ一般言語学科のギッパ教授の下で主に勉強しております。二年来ずっとギッパ教授の下で学びたいと思っておりましたので念願が適ってうれしく思っております。週2回のギッパ教授による“記号論と意味論”についての講義とこれに平行して行われるゼミナールが、今のところ私にとって最も大切な授業です。その他に、

ドイツ学科の方で“ドイツ言語学入門”というゼミナール、言語学科の方で“応用言語学”についての講義と“学問的研究における技術入門”というゼミナールをとっています。ドイツ語の力を高めるために、さらに週一回、自由参加の語学コースにも通っています。

ギッバー教授の下で「記号論と意味論の問題点」について今勉強していることは、後で日本に帰って“思考と言語”について卒業論文を書く際に大変役に立つと思われまます。毎週火曜日のシュプレヒ・シュトウンデ（教授と個人的に話をする時間）には、ギッバー教授と、言語の比較の方法論について重要な参考文献について話をしたりしています。その他、日本語とドイツ語の比較についての文献をできるだけ多く集め、読むようにしております。

日常生活に関しては、ロータリアン、カウンセラーのケンパー教授（薬理学・毒物学の教授です）のおかげで繁雑な手続きも問題なく済ませることができ、不自由のない生活をしております。週一回はこのケンパー氏と授業の様子、住居の具合、交友関係、ミュンスターのロータリー会員との交流など、さまざまな内容について話をするようにしています。ケンパー氏は理解をもって私の面倒を見て下さるので、私としては実に満足しております。12月15日には午後のお茶に招待され、夫人と私より一つ年上の娘さんとも知り合いになり、ドイツと日本の習慣の違いについて話をしたりして、実に楽しい時を過ごしました。

ちょうど日本のお正月のように家族で祝うドイツ最大の行事クリスマスもケンパー

氏のお宅で過ごさせていただきました。ケンパー夫妻、息子さん、娘さん私の5人で極家庭的な雰囲気の中で、さまざまな話題についておしゃべりをしながら、クリスマスの御馳走をいただき、美しくキャンドルを燈したモミの木を飾った部屋でプレゼントの交換をした後、さらに私はケンパー夫妻と3人でクリスマスの特別ミサにミュンスターの大聖堂へと出かけました。別の宗教を持った社会の一員としての私にとって、これはヨーロッパ文化の核であるキリスト教について知る重要な機会でした。外国語を学ぶ際にはその背景を成している文化を知らなければなりません。そして、ドイツ文化を知ることはキリスト教ぬきにしては考えられません。このため私はクリスチャンではありませんが、これまでも何度か日曜日のミサに出席してみたりもしました。今回のこの特別ミサ（メッセといいます）は、無神論を唱えるものが増えた現代でも、キリスト教がいかに深くドイツ人の心に染み込んでいるかを私に物語ってくれました。

ケンパー氏の他に、ミュンスターのロータリー会員であるオストフス夫妻からも一度夕食に招待されました。このお宅では20人以上の世界各国からの留学生と知り合いになり、国際的な雰囲気の中で談笑を交わすことができました。この御夫妻にはまた、クリスマスに飾るキリスト降誕像（クリッペ）の展示会に郊外へと連れて行っていただき、この際ドイツの田舎の美しい風景に触れることができました。

ここミュンスターでは2週間に一度、18から30歳の将来ロータリークラブの会員になろうという人々の集会（ローター・アク

ト)が開かれ、さまざまな分野の専門家による講演会、コンサート、ボランティア活動、パーティーなどが行われます。私も興味をもって参加させていただいております。

また、ロータリー奨学生として非常に貴重な経験をさせていただきました。アメリカはヴァージニア州からのもう一人の奨学生と一緒に、オーストリアから来たゲスト演奏者による特別コンサートに招待を受けたのです。バッハ、ベートーヴェン、シューマン、リスト、ショパン、ラベル、それぞれの曲が作曲された年代に応じてその時代に作られたピアノで演奏が行われたのですが、使われた4台のピアノのうち最も古いものは1640年作のチェンヴァロでした。

### 私とロータリアン

一年間のドイツ生活は私に、とてつもなく大きなものを与えてくれた。すばらしい人間との数々の出会いもその一つであるが、特にお世話になった3人のロータリアンは忘れることができない。

まず、ミュンスターで私の顧問ロータリアンとなってくださった、フリッツ・ケンパー氏。ケンパー氏は大学の薬学部長という大変に多忙な地位にありながら、あらゆる方面に渡って細々と私の面倒をみ、注意を払ってくださった。寮のドイツ人学生が

皆帰省してしまうクリスマスに、一人残されてしまう私を自宅に招いて家族同様に扱ってくださったことは、今でも忘れることができない。

次にオストフース夫妻。この方たちは、各学期の始めと終りに自宅を解放して外国人留学生のための国際親善パーティーを開いてくださっている。このパーティーを通じて私は、何人かの大切な友人たちと知り合うことができ、それによって充実した一年を過ごすことができたのである。

そして、グインハルト夫妻。エッセン郊外のフェルベルトという町に住むこの御夫妻は、週末に私を自宅に招待して下さり、ドイツの家庭の雰囲気をつぶり味あわせてくださった上、さらに、フランスの田舎町で開かれたロータリーの慈善パーティーに私を連れて行ってくださった。第一次・第二次2つの世界大戦で敵国であったドイツとフランスが、戦後友好を回復してゆくために、2つの町のロータリアンがどのような交流を行ってきたかというお話は興味深いものであった。

今、思い返してみると、ロータリー財団の奨学生だったからこそ、このような貴重な出会いを経験することができたのだとしみじみ思う。そして、今後も、ロータリーの力で、国際的で素晴らしい出会いをもつ人を次々と送り出して下さることを、心から願ってこの文を終わりたい。



鈴木基一 P. G. R I会長代理として  
269地区年次大会に出席





# ROTARY INTERNATIONAL

*Service Above Self - He Profits Most Who Serves Best*

1600 RIDGE AVENUE · EVANSTON, ILLINOIS 60201, U.S.A.

Tel: 312/328-0100 · Cable: Interotary · Telex: 724-465

M.A.T. CAPARAS  
PRESIDENT - 1986-87

2 December, 1986

Dr. Motoichi Suzuki  
Past District Governor, R.I.

Dear Motoichi:

Your report on the Conference of District 269 in Okayama, Japan on 18-19 October has reached me, and I thank you for the contributions you and Tamae made to promote effectively our theme of **ROTARY BRINGS HOPE**.

Nita and I are glad that your experience was both pleasant and rewarding, and hope that some of the contacts you made will grow into long lasting friendships. We recognize the demands that were made upon you, and are grateful for your having given so freely of yourselves to meet them. You may be sure that your presentations will help the Rotarians to launch activities that will in some way alleviate the deplorable conditions under which so many live.

The comments in your report, compiled with those of our other representatives, will be studied so as to determine how the conduct or format of district conferences can be further improved. Thank you for the observations you made which will prove useful.

Nita joins me in sending you both our best wishes.

Sincerely,

A handwritten signature in cursive script that reads "M.A.T.".

M.A.T. CAPARAS  
P r e s i d e n t



# ROTARY INTERNATIONAL

*Service Above Self - He Profits Most Who Serves Best*

1600 RIDGE AVENUE • EVANSTON, ILLINOIS 60201, U.S.A.  
Tel 312/328-0100 • Cable: Interotary • Telex. 724-465

M.A.T. CAPARAS  
PRESIDENT - 1986-87

26 August, 1986

Dr. Motoichi Suzuki  
Past District Governor, R.I.

Dear Motoichi:

Nita and I were delighted that you and Tamae have accepted to serve as our representatives to the conference of:

District 269 - Okayama, Japan - 18-19 October

A copy of my letter to the district governor is enclosed along with materials essential to your assignment. He will be sending you additional information about his district. Please send him your photograph and biography in ample time for such use as he may wish to make, including their insertion in the conference program booklet.

I have asked the governor to schedule you for three separate addresses to the conference and that your speech on ROTARY BRINGS HOPE take place at the most important function. I appreciate your emphasizing the objectives and programs that have been established for this Rotary year.

Nita and I very much hope that you and Tamae will find this to be a very rewarding experience, and appreciate the important contributions you will make to further our theme and the work of Rotary worldwide for the betterment of all mankind.

Sincerely,

M.A.T. CAPARAS  
P r e s i d e n t

## R. I. 会長代理メッセージ

国際ロータリー第269地区年次大会

1986年10月18日 於. 岡山武道館

P. D. G. 鈴木 基一

只今ご紹介いただきました255地区西那須野ロータリークラブの鈴木基一でございます。

この度はからずも MAT Caparas R. I 会長とニタ夫人の代理と致しまして、家内ともども当269地区の年次大会に出席させていただく機会を与えられましたことを、本当に光栄に存じているところでございます。

このような素晴らしい大会を一年有余にわたる周到なご準備のもとに設営していただきました中島ガバナー、守分大会委員長初め、会員ご家族の皆様方、またコ・ホストクラブの会員ご家族の皆様方に心からの敬意と感謝を献げます。

また私にとりまして、ロータリーの恩師ともいふべき菅野前 R. I. 理事を初め、地区内外の現ガバナー、バスターガバナー、ガバナーノミニの皆様方、このように多数の同僚ロータリアン、家族の皆様方に心からの敬意と感謝の言葉を述べる事が出来ますことは、私にとりましてこの上もない栄誉と喜びでございます。私は Caparas 会長並びに Nita 夫人から皆様方によく申し上げるよう申しつかりました。

皆様の地区は伝統と高名な歴代ガバナーが沢山いらっしゃいます名門地区でございます。その地区の年次大会に会長代理として出席するようにとのお知らせを受けました時に、私は大変光栄に存ずると共に、本当に身の縮まる思いをしたわけでございます。

年次大会と申しますのは国際ロータリー

にとりましては、大切なものでございまして、出来ますことなら R. I. 会長ご自身が、ご夫人同伴にて出席され、皆様と親しくおめにかゝってお話をするのが理想でございますけれども、現在世界には447の地区がございまして、毎日参りましても任期中には終りませんので、会長は私に269地区へ出席し、会長代理としてのアドレスを行い、R. I. の現況報告をするようにとのご指示がございました。

従いまして Caparas 会長の代理でございますので、会長のプロフィールを申し上げなければなりません。このことにつきましては、すでに中島ガバナーのお話、マンズリーレーター、ロータリーの友等で充分ご承知かと思えます。

会長のフルネームは Mateo Armand Teneco Caparas で、前の三つのイニシャルを綴りますと MAT となり、ロータリーでは Mat の愛称で呼ばれております。

私と会長との最初の出合いは1980年当時フィリピン全土4地区の会長セミナーがマニラ北方のリゾートアイランド、コブランジャで開催されました時でございます。当時のバレドガバナーに招待され、その会合に出席致しました時でございます。彼は R. I. の副会長でございました。そして親しくお話をする機会に恵まれました。温かい雰囲気の中にも彼の澄んだ眼は意志の強い清廉な人であるという強い印象を受けました。

MAT は1923年12月28日ルソン島北部の

クヤボ市に生れ、父がタルラック州モンカダに農場を開き、生後まもなく家族ともども同地に移住しております。

そこで彼は「私が貧しい人々に関心を持つようになったのは、少年時代に農作業の辛さを身近で見て知っている為だと思う」と語っています。夕食時には家族の全員がお手伝いさんの子供達と同じテーブルを囲んで食事をしたという。身分差別がはっきりしていた当時の農村でお手伝いさんの子供達と一緒に食事をするのは珍しいことだったのです。彼の父は「この子供の親も私も子供を思う親の気持は皆同じだよ」とMATに言い聞かせてくれたとのことでした。以来今日までMATは父のこの教えを固く肝に銘じ「ほかの人々のために役に立つ人間になろう」と決心したのも、この父の教えによるところが大きいと言っております。本年度の会長テーマ「ロータリーは希望をもたらす」はこゝに根ざしていると思われれます。

会長がフィリピン出身でございますので、私はフィリピンに関連のあるつたない経験を申し上げたいと思います。

1980年シカゴでの国際大会の折、同地の紅花に於きましてW. C. S. プロジェクトNo1504「三つ口の治療援助」の資金贈呈をフィリピン381地区バラニアックR. C. に両地区ガバナー立合いのもとで実施しました。同年11月に実地調査に現地に参加しました。想像以上に三つ口の子がおりました。言葉の無い希望の無い姿でした。その暗い世界に一つのすくいはバラニアッククラブのメンバーの熱意と、その治療を心よく引き受けて下さいましたアチェンサ先生のボランティア精神でした。そして援助の継続を約束致しました。

当地には桃太郎合唱団があるとき、及ん

でおりますが、私達のクラブでは1978年に少年少女合唱団を創設致しまして、現在も活動を継続致しております。その合唱団を1982年3月に訪比させ、親善交歓演奏会を総員106名で実施致しました。W. C. S. の縁で姉妹クラブとなりましたバラニアッククラブの協力を得て、団員は全員ホームステイを致し交歓致しました。マニラのフィラムライフの大ホールで最後の演奏会を開きました。その最前列に三つ口の治療を完了した子供とその家族の一同が「日本のおじさん有難う」と書いた風船を持って着席しておりました。演奏会の最後にその子供達の手を放れた風船は子供達の将来への希望をのせて会場内に舞い上りました。その二年前私達が最初に逢った時には言葉の無かったその子供達から楽しい歌声を聞くことも出来ました。本当に素晴らしい一夜でした。

その合唱団も4年前から地域に密着した活動も始めました。私がそれを説明申し上げるよりも、本年「小さな親切運動」作文全国コンクールで優秀賞をいただきました団員の小学六年生加藤三佳ちゃんの作文の一節を披露させていただきます。

「私の意志の弱さを吹き飛ばすような、ふき飛ばさずにはいられないような音楽との出合いが私を大きく変えたのだ。

その一つは、アジア学院の収穫祭に参加したことだ。アジア学院は、主に東南アジアから農業の研究に来ている人の学校で肌の色もいろいろ、言葉もいろいろの人達が自分の国を高めるために勉強している所だ。収穫の喜びを民族衣裳を着て歌ったり踊ったりしてみせてくれた。私達も「蛍こい」「レロンレロンシンタ」「草原情歌」など緊張して顔を赤くしながら歌った。言葉は通じなかったけれどアジアの他の国々の人

々と心が通じあったような気がしてうれしかった。歌があれば世界のだれとでも仲よくできそうな自信のようなものが体の中から湧き上がってきた。

二つめは、視力センターに慰問に行ったことだ。こゝは目の不自由な人が一人で生活していくためのきびしい訓練をしている所だ。「こゝで勉強している人達は目は不自由かもしれないけれど、心の目はあなた達より大きく開いていますよ、一生懸命歌いましょう」と先生がおっしゃった。

私は「贈る言葉」や「嫁入り行列」など心をこめて歌った。センターの人達は一言もしゃべらず、耳をじっと傾けて聴いて下さっている。見えない目でじっと見つめている人もいる。しかもみんなの顔は意外と明るい。私はホッとした気分になった。それと同時に、こゝの人達は、私達に強く明るく精一杯生きていくことの大切さを教えてくれたのだと思った。じっと私達のコーラスを聴いてくれる心の目が優しく強く教えてくれていた。

三つめは、刑務所慰問だ。それを聞いた時だけは、今迄と違ってとても不安になり、何となく行きたくない気分になった。でもその日のために、沢山の曲を練習してきたのではないかと、頑張ろう。私は自分に言い聞かせた。その日はクリスマスイヴだった。1千人以上の人々がキャンドルの灯をともしたホールで待っていてくれた。予想していなかった光景にびっくりしたり安心したりした私は、一生懸命、「もろ人こぞりて」「清しこの夜」「ママのそばで」「友達」など十数曲をたて続けに歌った。

ふと気がつくやうに、あちらでもこちらでもすすり泣いている。坊主頭をうつむけて一度も顔をあげず泣きじゃくっている人もいた。若い人も白が頭の人もみんなやさしい

人ばかりに見えた。夫々に、両親や自分の子供のことを思い出しているのかなあ、とつらい気持ちになった。

私は、私達の歌声がこの人達の心の慰めになり、正しい灯をともしもとになったとしたら、こんなうれしいことはないと思った。そして不思議な力をもつ音楽のすばらしさに体がつきあげられるような感動を覚えた。私は最後に「今日の日さようなら」を胸一杯になりながら心をこめて歌って来た。」

これらの話を聞いた姉妹クラブ台湾桃園クラブでは本年二月に桃園児童合唱団を創設し、去る7月には李伝滄バスターが合唱団を指導される教師二名を連れて訪問され、実地研修の機会をもちました。そして近い将来両合唱団の交流をも話し合いました。ロータリーの善意の輪は次々に広がりをみせて参ります。

以上でございますが、言葉の無かった子供達に言葉を、異境に勉学する人々に安らぎを、光の無い世界の人々に心の眼を、幽囚の人々に家庭のぬくもりを、とロータリアンと少年少女がともした小さな灯は21世紀に向けて希望をもたらしてゆくと思われまします。

カバラス会長は国際協議会の閉会挨拶で次のように述べております。「ロータリーは希望をもたらす。この言葉で私達は、人間に歩みより、人間を動かす精神に触れることが出来ます。私達が必要とし、求めている人は、実際的の理念に強く引かれる人です。私達はこれをロータリーの美と呼んでいます。ロータリーの美とは、ロータリーが善であるということだけではありません。ロータリーは善行をしているから善なのであります。ロータリーは思いやりがあるだけではありません。ロータリー

は人々の世話をしております。ロータリーは親睦を意味するだけではありません。ロータリーは、奉仕を通じて親睦を求め、これを友情に育てようとします。そして、この奉仕によって、人々にロータリーは希望をもたらします。」と申しております。

ロータリーの発展は皆様一人ひとりがロータリーの理想と精神をどのように強めてゆくかによって決まると思います。ロータリーの奉仕と友愛を通じ、あなたの着想と理解と行動力によって、あなたの隣人、否世界の人々に希望をもたらすことが出来ると思います。少なくとも困窮している人、絶望している人、夢を絶たれた人々に希望と喜びをもたらして下さい。人間は生れ乍らにして、助け合いの心を持っており、これが人間としての存在を支えているものです。ロータリーが発足以来人種、言語、宗教を越えて160ヶ国に拡大していった根本的な理由がそこにあるからであります。

国際協議会におけるカバラス会長のメッセージの締め括りの部分をここに引用しまして結びと致します。

「ロータリーは人生に崇高な目的を与える。崇高な目的とは、地域社会ひいては世界の生活を改善しながら奉仕をすること、及び他の人の生活の重荷を和らげることであります。ロータリーが非常に多くの国々で、非常に多くの方法で、非常に多くの人々に対してどのような奉仕をしたかを、手短かに表現したいと思います。即ち、ロータリーは希望をもたらす。

希望とは、よりよいものへの期待であります。希望とは、地位にかゝりなく、人を動かす光であります。希望のない人生と

は絶望の中で暮らすことにほかなりません。希望は、人間の内側から芽生える精神状態で、誰から与えられるものではありません。しかし、よりよいものに到達する力になっている人は、他の人にこのような希望を抱かせることができます。希望とは、再び世界を見ることができるようになり光を取り戻すことかもしれません。或は、足の不自由な人が、自由に動き回られるように副木をはずせるようになりたいと願うことかもしれません。希望とは苦痛から逃れること、遊ぶ場所、清浄な空気や水、夢をみる時間かもしれません。希望が大きくても、小さくても、希望の花が開けば、少くとも人生はまだ耐えうるものとなります。他の人の生活に希望の花を開かせた人は、自分自身の希望を二倍に豊かにします。私達の標語として昔からこう言ってきました。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。」

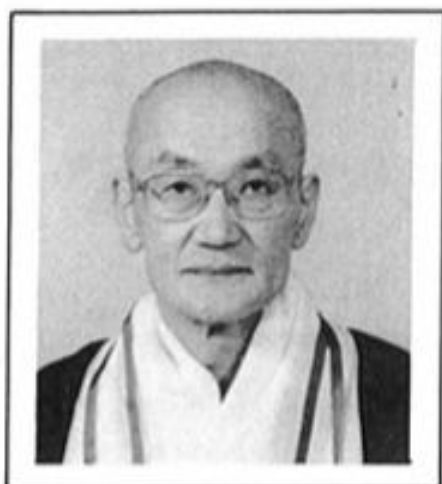
このために、多くの人々がロータリーに引き付けられてきました。この人達は、ロータリーが、より意義深い人生に通じる道であることに気付きました。この人達は、ロータリーの歯車という徽章に誇りをもっています。この歯車は、最初は商業、次いで産業、そして今は希望を象徴しています。世界に呼びかけて、ロータリーを通じて、共に追求しましょう。ポリオにかゝらない子供達を、すべての人々に食糧を、生き甲斐のある人生を、そして平和な世界を。」と力強く訴えられました。「ロータリーは希望をもたらす」という確信のもとに、奉仕の理想を力強く実現していこうではありませんか。

ご清聴有難うございました。

# 草野栄龍元会長追悼例会







## 故草野栄龍氏

### ロータリー歴

- 昭和46年12月 創立会員として入会  
理事（5ヶ年間）  
昭和50年6月 第5代クラブ会長  
昭和52年6月 255地区委員  
昭和58年6月 米山奨学生李源珠カウンセラー  
昭和59年4月 255地区大会委員長

### 略 歴

- 大正6年12月10日 東京都千代田区麹町に生まれる 幼名 喜長よしなが  
昭和12年10月 出家得度 松田密信和尚の弟子となる  
豊山中学（現日大豊山高校）、国学院大学を経て高野山大学  
入学  
昭和16年3月 高野山大学仏芸科卒業  
卒業後近衛歩兵一聯隊第二部隊に入営 陸軍中尉  
昭和20年9月 雲照寺副住職  
昭和27年8月10日 明治寺住職拝命  
昭和31年1月21日 雲照寺住職拝命  
先代密信和尚遷化 昭和31年4月17日  
昭和32年1月7日 晋 山（明治寺）  
昭和32年4月14日 晋 山（雲照寺）  
昭和48年5月 真言宗東寺派宗会議員となる  
昭和48年7月14日 同派管長に就任

西那須野町仏教会会長 旧西那須野公民館館長 西那須野町教育委員会委員  
西那須野町青年団団長 西那須野町文化財保護委員会委員 西那須野町郷土  
資料館運営委員会委員 保護司 人権擁護委員 等 歴 任（順不同）

昭和61年11月15日 入寂 行年 68年11箇月

## 弔 辞

西那須野ロータリークラブ会長

岡部 稔

故草野栄龍先生の御霊にロータリーの友として謹んでお別れの言葉を申し上げます。

先生は西那須野ロータリークラブの創立会員として27名のチャーターメンバーと共に創立総会、国際ロータリー加盟承認、チャーターナイト、と創立にかける熱意はなみなならぬものがございました。

また1975年～76年度第5代会長に就任され、クラブ会長として「確かな足取りで歩こう」をテーマに掲げられ、草野年度を通して身をもって隠徳の教えを実践されましたその先生のお姿を今もなお鮮明に思い浮かべることが出来ます。

50名におよぶ会員をお導びき、出席優秀クラブとしての表彰を受けられ更に1983年～84年度国際ロータリー第255地区、鈴木基一ガバナーが当クラブより誕生され、栄えある地区年次大会を挙げるに当たり、大会委員長として国際ロータリー会長代理ハロルド・ヘンダーソンご夫妻の御臨席を仰ぎ名声囁々たる各界のご来賓を始め、地区内外、バストガバナー、ロータリアンおよそ3,000名をお迎えしてホストクラブとしての大役を見事に果たされ大会は立派な成果を挙げる事が出来ました。

この成功は全会員、同令夫人のご協力あってこそ成し得た偉業と申せましょう。また、日頃先生の誰れをも公平に、そして寛容なお気持ちで包みこまれる心の広さを

各位が十分に認識され、奉仕への積極的な参加を促した結果によるものであると信じております。

去る日、私が中野の病院に先生をお見舞い申し上げた時、先生は何時もと変りない笑顔でクラブの様子などお訪ねになり私の説明に満足そうに頷いておられ、また病院長様への感謝のお気持ちを洩らしていらっしゃいました。

その後退院され一時は快方に向かわれたかに思われましたが再び入院を余儀なくされ、御家族の手厚いご看護にも拘わりもせず去る11月15日に悲しい訃報に接しました。

諸行無常と云われます現世の悲しい定めとは申せ、今先生を失うことに私達は深い哀惜と、哀悼に、胸の痛む思いがいたします。

私達は先生が西那須野ロータリークラブの歴史に残された数々の御功績を心の支えとして、当クラブの将来にいつその栄光と繁栄をもたらすよう、おしめない努力を続けますことを今ここに先生の御霊にお誓いいたします。

永遠の眠りにつかれました草野先生の安らかなる御冥福を心よりお祈り申し上げ弔辞といたします。

昭和61年12月5日

## 弔 辞

### 草野栄龍先生とロータリー

バストガバナー 鈴木 基一

草野先生とこんなに早くお別れしようとは夢にも思っておりませんでした。

先生とロータリーの関係でございますが、1968年10月8日（18年前）に先生のお宅に参上して、この地域にロータリークラブを創立することについてご相談申し上げました。先生はその場で心よく入会を承諾されたわけでございます。その年の10月4日に当時の金谷直前ガバナーに宇都宮クラブの例会に呼ばれまして、このクラブの創設について相談があったわけでございます。それから4日たった8日でございまして、最初にご承諾をいただいたのも先生でございました。

それから3年程の月日がたちまして、1971年9月14日農民センターにおきまして、このクラブの設立準備会が開かれました。当時27名の創立会員予定者のうち19名が出席され、11名の設立世話人を選出致しました。先生はそのお一人であったわけでございます。

先生はクラブ創生期の71～72、72～73、74～75、75～76、76～77年度の5ヶ年間クラブの理事として我々を指導して下さいました。77～78年度は地区のロータリー財団推進委員としても、ご活躍いただいたわけでございます。1982年にはポール・ハリス・フェロー、1983年には米山功労者としてロータリーにご協力をいただいております。

先生の会長年度（75～76年）にはクラブ

独自の日米1年交換学生を実施しております。これは大変な事業でして、先生の御尽力がなければ出来なかったのではないかと思います。米国からドナ・ケイとスコットが参ったわけですが、先生はすゝんでスコットのホームステイを引受けて下さいました。亦、私のガバナー年度には米山奨学生の李源珠さんのカウンセラーとして一年間お世話をしていただきました。先生と親しく接することの出来ました留学生諸君はひとしく先生を尊敬しておられましたし、帰国した現在も彼等の心の中に先生の教えが生きづいておると思われます。

会長年度に第一分区の第3回I. G. F. が当クラブのホストで実施し、会長として格別のご尽力をいただき、成功のうちに終わりました。

以上のように数々のロータリーに対するご尽力があったわけでございます。

クラブの創立記念に建立致しました「四つのテストの碑」が中央公民館の前庭にございます。これは5周年誌の表誌にもなっておりますが、この碑につきましては、デザイン、設計、碑面の文字すべて先生の手になるものでございまして、先生が手がけておらなければ、あのような立派な碑は完成しなかったと思います。

5年毎に出版しておりますクラブの記念誌の題名でございまして、5周年誌は先生の筆になる「歩」を切り抜いてお作りにな

ったもので「ホ」と読んでいただきたいと先生は述べておられます。

その時にすでに10周年誌は「進」ですよと予言し、10周年誌は先生の筆になる「進」のデザインで、その通りになりました。亦、15周年誌は「翔」ではいかがかと先生はその時におっしゃっておられました。

先生がお亡くなりになります恐らく1ヶ月半位前かと思いますが、城田さんがお宅にお伺いして15周年誌の表紙をお願いして参りました。先生にはご健康がすぐれませんでした。立派な表紙を作製していただきました。15周年誌の表紙として有難くつかわせていただきます。この作品はクラブにとりまして先生の絶筆でございますので、その原画は資料室に永久保存してはと思います。クラブの記念誌すべてが、先生の筆になるものでございます。心から感謝の念を献げたいと思います。

私の脳裏にはっきりと焼きついている十数年前のことを思い出すわけでございます。1972年10月7日8日に新潟で当時の355地区356地区連合地区年次大会が行われました。私はその時小出さん、草野さん、ショアさん、梨本さん達と大会に参加したのでございます。ショア会員は日本語を殆んどはなすことが出来ませんので、草野さん梨本さんは和英辞典を、ショアさんは英和辞典をお互いに持ちまして、列車の中でも、会場でも、ホテルでも辞書を片手に意志の疎通をはかったわけでございます。これは草野先生のご配慮、おもいやりでございまして、ショアさんは帰られた時に大変よかったとの感想を漏らしておりました。

R I 会長代理のベル氏とショア会員の会

見手配、食事の受け取り、お茶の世話、会場の案内等を先生は卒先して実践しておる姿を拝見しておりまして、人々から尊敬される真のロータリアンだなと思いました。

その大会で私は参加125クラブを代表して挨拶をすることになったので、ロータリーの一年生がどんな挨拶をするのかと大変ご心配なさったようで、私が挨拶を終り降壇致しましたら、先生は舞台のそでに待っておられ「よかった、よかった」と私の手を握ってくれました。その手のあたたかさは私一生忘れることはないと思います。

私のガバナー年度の地区年次大会には大会委員長として陣頭に立たれ大会を成功に導いて下さいましたことは皆様の記憶に新しいこととございます。先生は韓国の国楽院の方々をお招きするにつきましても、先生の強い信念があったればこそ、それが実現したのだと思います。

私がガバナーの任を無事に終ることが出来たのも、先生の仁徳でクラブ全体をまとめていただきご協力いただいた賜で、心から感謝を致しておるところでございます。

5代会長としての会長テーマは“確かな足取りで歩こう”地域社会に即した奉仕活動を。でございました。そして会長就任挨拶で次のように述べられたのであります。

「まことに古めかしい言葉であります。しかしこれは、飛ばし過ぎたからゆっくり行こうぜなどという意味ではございません。ロータリーでは、何もしないのが一番わるいこと、とされておりますが、決して今年はおらぶら歩きのと休みではございません。否、発足以来のつかれが出て小休止に

なりそうな時期であればこそ、これを一番心配しなければならぬときでございます。

一つの平面をその高さに持続するためにはより高く持ち上げる力を必要とします。物をのせても耐えられる力が内燃していなくてはテーブルはその用をなさぬのであります。

地域社会に即した奉仕と申し上げますと、これも亦今までの国際交流等の奉仕活動に反語するようではありますが、わがクラブが立脚している地域社会は「伝統に弱く発展に強い」土地柄でございます。地域そのものが目まぐるしい程積極的な前進姿で前のめりになった形であります。従って地域社会に望まれている働きというものは、決して視野のせまい単なる安住ムードではございません。交換学生の事業もこの地域には

是非必要な奉仕活動でありまして、地域社会から遊離した絵そらごとではないのでございます。アジア学院のみならず国際色ゆたかな、そして益々交通網の要地に位する地域、文化施設、教育施設にも強い伸び率を示しているこの地域社会の実態に忠実であるということは、我々の活発な奉仕活動を誘うに十分な示唆を含んでおります。」と10余年前に申されており、現在にもあてはまるものを含んでおります。先生のご遺徳をしのび、今後先生の教えを体して進むことを霊前にお誓い致そうではありませんか。

先生との思い出はつきません。先生のご冥福を心からお祈り致します。先生どうぞ安らかにやすみ下さい。

## 弔 辞

### 故・草野栄龍先生追悼のことは

西那須野町長 高野 三郎

本日、ここに故・草野栄龍先生の御霊ごたまに対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先生の御逝去は、本ロータリークラブ会員はもとより、全町民が深い哀しみに打ちひしがれています。先生の慈愛あふれる眼なごし、温情に満ちた、そしてユーモアに富んだあの声は、もう二度とお聞きすることができなくなりました。本当に残念なことであります。

いま先生の御功績を思い起こすとき、様々の思い出が去来いたします。本ロータリークラブの創設以来のチャーターメンバーとして15年の永きに亘り中核的ロータリアンとして我々後輩を御指導いただきました。誠に有難うございました。

先生は宗教人として、ロータリアンとして、その業績も御立派でありましたが教育者として特に青少年の教育面でも多大な貢献をされ、その足跡は計り知れないものであります。

先生は、昭和28年から32年まで4年間、町の教育委員として、また中央公民館長、社会教育委員として戦後の教育の復興のため尽力されました。

さらに昭和40年から52年までに12年間、そして昭和56年から60年までの4年間、合わせて16年間、町文化財保護審議会委員として、貴重な町内文化財の掘り起こし保存のため活躍されております。そして昭和52年から2年間、町郷土資料館運営委員とし

て郷土資料館の創設にも力を尽くされております。

特に戦後の混迷の時代には、青年団の指導者として活躍されました。当時先生の教えを受けた若者たちも、現在では立派な壮年組となり、夫々第一線で存分に活躍しておられます。

なお、昭和28年から法務大臣委嘱による人権擁護委員、昭和27年から24年間の永きに亘って司法保護司として青少年健全育成に力を尽くされました。

以上のように先生には戦後の混乱期から40年間、本町の社会教育にそして青少年健全育成に大きな功績をのこされた訳でありまして、その故をもって、昭和37年栃木県知事感謝状、昭和48年宇都宮保護観察所長表彰、昭和55年那須地区社会教育振興会長表彰、昭和57年町条例による表彰、そして昭和60年には町の特別自治功労者表彰等々、数々の栄誉、褒章に輝いたのであります。

多くの人々の言葉を借りれば、先生はあらゆる人に皆等しく接して下され、温かい励ましの言葉を賜わり、生きる<sup>トモシビ</sup>灯をかざして下さいました。本町の人づくり、社会教育は、先生によってその途が開かれたと言いきっても過言ではありません。合併30周年の記念すべき年を契機に、21世紀へ向けての新たな開拓に邁進しようとするとき、先生にはまだまだ御元気で町民の希望の灯としてご活躍いただけると願ひ信じておりました。まさに巨星落つのがいたします。

私たち町民は、只々先生の御遺徳をしのびつつ先生の温顔と励ましの言葉を道しるべとして歩いていくことが、先生の御霊に御応えする只一つの道として、夫々の立場で努力していく覚悟であります。

御生前の御偉業を称えながら、草野栄龍先生の安らかな眠りをお祈りして追悼の言葉といたします。

## 弔 辞

### 草野和尚を偲んで

森 利男

この度の草野栄龍現下の突然の御遷化にあたり、岡部会長を始め会員の皆様の方ならぬお心くばりに対しまして、本日は知明様が御挨拶にお見えになられておりますので、甚だ差出がましようございますが檀徒総代の一人として私からも改めて御禮申し上げます。誠にありがとうございました。

草野会員を偲んで何か話をするようにとのことですので雲照寺の檀徒としての立場からお話をさせて戴きます。会員の皆様は殆ど草野先生とお呼びしておりましたが、私は長い間の習慣で和尚さまと申し上げて

おりましたのでその様に呼ばせて戴きます。

和尚さまが西那須野へ参りましたのは昭和20年終戦直後でございました。当時私の父が檀徒総代をしておりましたので、その頃からのお付き合いでございました。陸軍将校の軍服に皮長靴と云ういでたちで自転車で、ご用達しにお見えになられたのを覚えております。あれから40年余り、和尚さまとのお付き合いの中での思い出を二、三申し上げてみたいと存じます。

今は貧しい家庭といっても、社会福祉も整って参りましたのでどうにか人並の生活

が出来た時代ですが終戦後かなりの時期まで本当に貧しい家庭が多かったのでございます。その頃、私の組内のあるお家でまだ若い父親が亡くなりました。お葬式もごく質素に、お布施もまともにお包みできない様な状態でした。当時の金額ですのでよく覚えておりませんが、心ばかりのお包を用意したしたのでございます。しかし和尚さまは、帰りぎわに、「子供さんの学資の足しに差上げて下さい」と懐紙に包みかえて私にお預けになられました。その時のお二人のお子様は今は立派に成人され、息子さんは一流会社の可成りの地位についています。幼なかつたあのお子様達は何も知らないかもしれませんが、私には忘れられない思い出の一つでございます。

あれは何時の頃だったか、ある日所用でお寺を訪ねた時のことです。和尚さまは本堂の前庭の草むしりをしておられました。こんなに広い処を大変でしょうと私は声をかけました。すると和尚さまは、実は近所の農家の方が農業をもって来て除草をしてあげましょうと親切に云って下さったのだが、雑草にだって生命いのちがある、それをまるで原爆でも落した様に、一斉に焼野原の様にするのは忍びないからねと、一本一本抜いていらっしやいました。

和尚さまは細かいことまでよく気の方でした。衣笠ガバナーの時、水戸で地区大会が行われました。次年度は鈴木ガバナーの地区大会を塩原で開催するので、参考の為に草野大会委員長以下夫人方までも動員して大勢参加した時のことです。和尚さまはご自分で菓子折を二つ用意して行かれました。そのことは誰も知りませんでした。私を呼んで、これは西那須野クラブか

らです、本日は大勢して御厄介になりますと、ガバナーと大会委員長にそれぞれ差上げる様にと渡して下さったのです。会長の私が見つからないことをきちんと準備して下さったことは、先方に対する礼儀もさること乍ら私に対する心配りに思わず頭が下がりました。

和尚さまは派手なことは好まなかったのですが、何事もスマートに、けじめをきちんとつける方でした。また中々おしゃれなところもございました。ご年配になられてからは、背広姿はめったに拝見したことはございませんでした。撫で肩で洋服があまり似合わないことを承知していたのでしようと、ご親戚の方が申ししておりました。ロータリーと云わずあらゆる会合に殆ど衣姿で通された方はめったにあるまいと思います。塩原での地区大会の時、大会委員長として晴れの壇上でご挨拶なされた時の衣姿、お祝いの時にお使いになる真赤なおけさにロータリーのバッヂをつけ、首から掛けられたあの晴れ姿が昨日のことの様に目に浮かびます。和尚さまは衣姿でも、決してロータリーのバッヂを忘れたことはございませんでした。常にロータリアンであることを誇りにしておられた様な気がいたします。僧侶として最高の位にお着きになられたことはどの位お偉かったのか部外の私にはよくわかりませんが、ロータリアンとしての偉大さは、14年間の御指導の中で、不勉強な私にもわかる様な気がいたします。今はただ、「大きなものを失ってしまった」そんな気持です。

和尚さまの御冥福をひたすら念じて話をおわります。

# 会 員 紹 介

氏 名  
生 年 月 日  
会 社 名  
自 宅 住 所  
電 話  
職 業 分 類



 <p>青山 栄一郎 T 11年 9月20日</p> <p>(株) 柏屋旅館 塩原町下塩原364 TEL (2) 2921 旅館(シニア)</p>	 <p>秋元 正 T 13年 1月5日</p> <p>熊野神社 西那須野町石林758 TEL (6) 0809 神道</p>	 <p>福本 治夫 S 2年 11月2日</p> <p>日本キリスト教団 西那須野教会 西那須野町大和町6-5 TEL (6) 0440 キリスト教</p>
 <p>深尾 賢一 S 23年 5月8日</p> <p>深山観光株式会社 塩原町下塩原683 TEL (2) 4334 (2) 4330 (自) リゾートホテル</p>	 <p>郡司 昌佳 S 12年 8月2日</p> <p>栃木キセキ販売(株) 西那須野町三島1-37-1 TEL 0286 (48) 2221 (6) 4637 (自) 農機具販売</p>	 <p>広瀬 久 S 11年 6月3日</p> <p>睦スタイル(株) 西那須野町東赤田321 TEL (6) 3281 縫製業</p>
 <p>伊藤 俊三 T 13年 10月21日</p> <p>(株) 伊藤保雄商店 西那須野町三島158 TEL (6) 0028 (6) 5784 (自) 日本料理(シニア)</p>	 <p>伊藤 祐蔵 T 13年 9月18日</p> <p>(株) 光陽社 西那須野町東町2-4 TEL (6) 0009 印刷業</p>	 <p>伊藤 義明 T 15年 4月26日</p> <p>伊藤牧場 塩原町大字横林27 TEL (5) 2558 酪農</p>
 <p>井上 正夫 T 13年 12月20日</p> <p>(株) 井上電機商会 西那須野町三島1-20 TEL (6) 0410 (6) 5831 (自) 自動車電装小売(シニア)</p>	 <p>池嶋 英哲 S 24年 11月27日</p> <p>池嶋酒造(株) 大田原市下石上1227 TEL 02872 (9) 0011 酒造業</p>	 <p>笠間 久吉 S 2年 1月2日</p> <p>(株) 笠間屋 塩原町下塩原764 TEL (2) 2350 土産物小売</p>

 <p>金子 哲也 S 14年2月1日</p> <p>金子産業 ㈱ 西那須野町大和町8-10 TEL (6) 0006 (6) 3284 (自) 牧場</p>	 <p>君島 六郎 T 11年8月15日</p> <p>㈱元泉館 塩原町大字湯本温泉101 TEL (2) 3155 温泉供給(シニア)</p>	 <p>君島 久造 S 8年2月11日</p> <p>㈱光雲荘 塩原町大字下塩原560 TEL (2) 2414 温泉経営</p>
 <p>君島 隆 T 3年10月28日</p> <p>㈱君島生花店 西那須野町永田町12-2 TEL (6) 0313 生花販売(シニア)</p>	 <p>菊地 孝一 T 9年2月5日</p> <p>㈱根田屋 西那須野町永田町9-2 TEL (6) 0033 玩具販売</p>	 <p>菊地 一彦 S 28年10月31日</p> <p>日本生命塩那支所 西那須野町東三島3-58-4 TEL (6) 0718 (6) 3959 (自) 生命保険業</p>
 <p>草野 栄龍 T 6年12月10日</p> <p>雲照寺 西那須野町三区町659 TEL (6) 0824 仏教(シニア)</p>	 <p>久保 福市 T 10年11月25日</p> <p>那須野酪農業協同組合 西那須野町上赤田238 TEL (6) 0133 (6) 1534 (自) 牛乳仲買</p>	 <p>小林 正治 S 7年2月19日 二宮木材 ㈱</p> <p>二宮木材 ㈱ 西那須野町扇町11-23 TEL (6) 0056 (6) 1893 (自) 製材業</p>
 <p>小林 正一 S 3年5月6日</p> <p>㈱小林モーターズ 西那須野町東町11-4 TEL (6) 0666 自動車部品小売</p>	 <p>小出 正夫 T 3年9月20日</p> <p>那須車輛整備 ㈱ 西那須野町五軒町1-26 TEL (6) 1151 (6) 3877 (自) 自動車整備(シニア)</p>	 <p>小滝 信光 S 16年7月5日</p> <p>㈱小滝光男商店 西那須野町永田町14-21 TEL (6) 0100 化学肥料販売</p>

 <p>小池 保 T12年11月1日</p> <p>㈱小池建設 西那須野町西三島3-183-24 TEL (6) 0229 請負業(シニア)</p>	 <p>狐塚 敏雄 S5年3月28日</p> <p>塩原カントリークラブ 宇都宮市氷室町931-80 TEL (5) 2211 0286(67)3131(自) ゴルフクラブ</p>	 <p>鍋木 文夫 S15年8月19日</p> <p>鍋木電気工事 ㈱ 西那須野町東三島2-101-4 TEL (6) 0717 電気工事業</p>
 <p>三森 重保 M32年8月22日</p> <p>㈱三森金物店 西那須野町五軒町1-38 TEL (6) 0078 金物小売(シニア)</p>	 <p>三森 美夫 T15年12月8日</p> <p>㈱ミモリレコード 西那須野町南町5-26 TEL (6) 0712 (7) 2078(自) レコード及楽器小売</p>	 <p>宮 利男 S9年5月25日</p> <p>㈱宮製材所 西那須野町南赤田322-13 TEL (6) 0040 木材販売</p>
 <p>室井 行男 S2年8月11日</p> <p>室井製作所 西那須野町朝日町6-40 TEL (6) 0043 機械部品製造</p>	 <p>森 利男 T7年11月1日</p> <p>㈱インテリアもり 西那須野町五軒町6-14 TEL (6) 0413 室内装飾業(シニア)</p>	 <p>森 透 S5年11月5日</p> <p>㈱吉田屋商店 西那須野町栄町1-8 TEL (6) 0013 石油液化ガス販売</p>
 <p>村上 善英 S17年1月2日</p> <p>大田原信用金庫西那須野支店 大田原市本町1-2701-181 TEL (6) 1255 02872(3)7337(自) 信用金庫</p>	 <p>中里 正 S3年5月4日</p> <p>中里工業 ㈱ 西那須野町東町7-9 TEL (6) 0278 (6) 4665(自) 給排水工事</p>	 <p>西山 公昭 S8年4月25日</p> <p>長延寺 西那須野町二ツ室74 TEL (6) 2177 仏教</p>



岡部 稔  
S 17年3月9日

㈱ ホテルニュー塩原  
塩原町大字下塩原705  
TEL (2) 2611  
ホテル



大塩直文  
S 3年8月7日

大塩整形外科医院  
西那須野町南町3-9  
TEL (6) 0626  
整形外科医



小沢恒明  
S 19年12月1日

小沢薬局  
西那須野町五軒町1-31  
TEL (6) 1945  
薬局



大武義雄  
S 8年10月12日

大武建材  
西那須野町関根167  
TEL (6) 1666  
建築材料小売



大森仁龍  
S 4年2月20日

慶楽院  
西那須野町井口291  
TEL (6) 6922  
仏教



大野千里  
S 25年11月11日

㈱大野茶店  
西那須野町永田町10-1  
TEL (6) 0002  
日本茶小売



大島静夫  
T 15年4月17日

農場  
塩原町接骨木114  
TEL (6) 1644  
農業



尾暮浩輝  
S 4年3月4日

尾暮材木店  
西那須野町五軒町6-4  
TEL (6) 0027  
材木処理



齊藤豊吉  
S 16年1月2日

㈱山和建设  
西那須野町南郷屋142  
TEL (6) 3328  
(6) 2068 (自)  
建築業



佐藤悦郎  
T 2年3月18日

佐藤医院  
西那須野町栄町7-16  
TEL (6) 0147  
(6) 2147 (自)  
皮膚泌尿器科医 (シニア)



佐藤正一  
S 19年5月27日

立場商店  
西那須野町東町7-20  
TEL (6) 0138  
燃料店



齊藤正之  
S 14年2月1日

足利銀行塩原支店  
宇都宮市雀宮町1050-6  
TEL (2) 3111  
0286 53 8020 (自)  
貯蓄銀行

 <p>笹沼幸雄 T13年1月7日</p> <p>(株)源三堂 塩原町下塩原1555 TEL (2) 2338 観光業</p>	 <p>佐々木栄緑 T12年3月31日</p> <p>佐々木陶芸 西那須野町南郷屋2-148-85 TEL (6) 0509 (6) 6006 (自) 作陶</p>	 <p>城田正男 T2年9月7日</p> <p>那須製紙㈱ 西那須野町一区町200 TEL (6) 2530 製紙業(シニア)</p>
 <p>鈴木洋利 S4年4月27日</p> <p>(株)スズキ商販 西那須野町陸105 TEL (6) 2578 食料品販売</p>	 <p>鈴木道雄 S13年5月24日</p> <p>鈴木建築造園設計事務所 西那須野町太夫塚6-232-348 TEL (6) 4440 (6) 3927 (自) 建築設計</p>	 <p>鈴木基一 T11年12月28日</p> <p>西那須野医院 西那須野町永田町11-3 TEL (6) 1100 産婦人科医(シニア)</p>
 <p>鈴木伊勢松 T8年1月18日</p> <p>鈴木電機㈱ 西那須野町あたご町3-3 TEL (6) 0167 電気工業(シニア)</p>	 <p>関谷直人 S8年11月28日</p> <p>関谷酒店 西那須野町五軒町7-9 TEL (6) 0135 日本酒販売</p>	 <p>鷹栖明 S2年11月15日</p> <p>株式会社鷹栖組 西那須野町二区町220-9 TEL (9) 1121 (6) 4819 (自) 鉄骨工事</p>
 <p>高瀬千治 T14年11月3日</p> <p>(株)高瀬源吉商店 西那須野町永田町8-8 TEL (6) 0046 贈品店</p>	 <p>高橋智純 S28年7月25日</p> <p>宗源寺 西那須野町東町1-8 TEL (6) 0168 仏教</p>	 <p>高野三郎 T12年9月7日</p> <p>(株)たかの 西那須野町二区町342-79 TEL (6) 0047 不動産賃貸業</p>

 <p>館野和夫 S 9年8月21日</p> <p>足利銀行西那須野支店 国分寺町駅東6-8-25 TEL (6) 1 2 1 1 0285 (40) 7 1 4 1 (自) 商業銀行</p>	 <p>田中俊彦 S 7年9月30日</p> <p>(株) ホテルニュー大綱 塩原町下塩原6 TEL (2) 3 2 3 2 温泉ホテル</p>	 <p>土山幸三 T 8年11月6日</p> <p>(株) 土山土建 西那須野町東町15-3 TEL (6) 2 1 7 2 コンクリート工事(シニア)</p>
 <p>土屋日出男 S 6年5月20日</p> <p>(株) 川崎屋運送 塩原町大字間谷1175 TEL (5) 2 3 3 1 運輸</p>	 <p>手塚徳次 T 13年7月14日</p> <p>(株) 三河屋呉服店 西那須野町永田町12-8 TEL (6) 0 1 0 1 衣料小売(シニア)</p>	 <p>戸田白鳳 T 6年4月13日</p> <p>那須寺 西那須野町扇町3-30 TEL (6) 0 4 6 0 仏教(シニア)</p>
 <p>富田勳 S 12年3月28日</p> <p>国立塩原温泉病院 塩原町大字下塩原1333 TEL (2) 4 1 1 1 (2) 3 3 5 5 (自) 国立病院</p>	 <p>田中保 S 14年8月30日</p> <p>栃木相互銀行西那須野支店 矢板市本町10-3 TEL (6) 2 1 1 5 02874 (3) 0 3 1 2 (自) 相互銀行</p>	 <p>薄葉忠 S 6年4月13日</p> <p>双葉堂時計店 西那須野町五軒町7-6 TEL (6) 0 3 3 6 時計販売</p>
 <p>渡辺一郎 S 19年5月29日</p> <p>(株) 万建設興業 西那須野町扇町10-1 TEL (6) 0 0 7 5 土木建設業</p>	 <p>渡辺陸男 T 1年10月18日</p> <p>(株) 渡辺電機商会 西那須野町栄町1-1 TEL (6) 0 3 5 7 電気器具小売(シニア)</p>	 <p>渡辺邦男 S 18年1月24日</p> <p>三和住宅(株) 西那須野町太夫塚1-195 TEL (6) 5 3 5 3 (6) 0 0 1 9 (自) 不動産業</p>

## あ と が き

十周年誌の表紙の弁に故草野栄龍バスト会長が「我がクラブの五年先は個人の子断をゆるす程常識的な足取りではありますまい。進という字は偶然飛躍性も含んでいてくれて助かりました。クラブ史に照らせば進どころか翔でもよかった。」と予言なさったことが編集をして、実感として感じられました。草野先生はこの十五周年誌の表紙のため病床にて筆をとられ、我々のためにみごとな「翔」の表題をお書き下され、その一ヶ月後に昇天されました。この題字は先生の絶筆でございまして、我々の進む道を暗示しておられると思われます。

最近の五ヶ年を振りかえりましても、地区年次大会、日比ワークショップの二大イベントのホスト、東水原ロータリークラブ及び桃園ロータリークラブとの姉妹クラブ締結調印、米山奨学生2名ロータリー財団奨学生の世話クラブ等盛沢山のプログラムでしたが、すべて順調に消化出来ましたことは会員として誇りでもあり、今後のクラブ運営に自信が出来たことと思います。

旧ガバナー事務所の部屋を二年前にクラブの資料室に衣替えしまして、資料収集を致して参りましたが、いまだ充分とは申せません。資料、記録がいかに大切か、記念誌の編集にあたり痛感させられました。会員諸兄の常日頃のご協力を切望してやみません。

脱稿するにあたり編集委員諸兄のご尽力ご努力に深謝致します。

---

### 創立15周年式典実行委員会

実行委員長 鈴木基一

委員長 城田正男

委員 室井行男・小沢恒明・大森仁龍・田中保・三森美夫  
森透・池嶋英哲・菊地孝一・渡辺陸男・小林正一

---